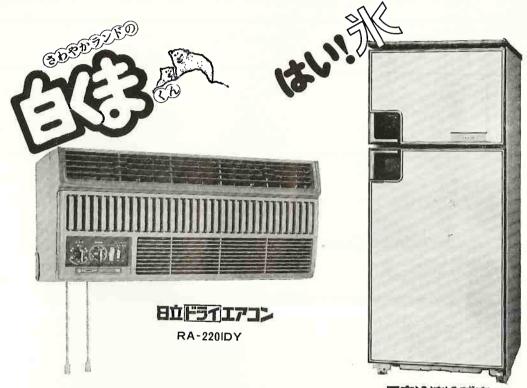
品質を大切にする〈技術の日立〉

——緑につつまれた近代的な工場で生まれる——

クールな世界の代表選手

ダイナミックな生産設備と徹底した品質管理のもとに、〈技術の日立〉にふさわしい製品を世に送りだすため、たゆみない努力を続けています。

株式會社 日立製作所 栃木工場

栃木県下都賀郡大平町富田800 〒329-44 TEL.02824－3111

全日本女子監督（強化コーチ）に鈴木義男氏

～モスクワへ、頂点強化スタート～

全日本男女、思い切った若返り

来年の世界選手権、3年後のモスクワオリンピックを目指す第一歩が踏み出された。日本協会は6月19日東京渋谷の岸記念体育会館で全国理事会を開き、強化委員会提案による男女ナショナルチームの新陣容を承認した。

今年度から日本体協の強化コーチという肩書きつきの男女ナショナルチーム監督は、男子は、すでに今春3月から4月にかけてクウエートで行われた第1回アジア選手権のさい配を竹野奉昭氏（強化委員）がふっていたことから、その〝留任〟に問題はなかった。

女子は、昨夏のモントリオールオリンピック直後、井燕氏（立石電気監督）が辞意を表明していたため、強化委員会内の協議で、コーチングスタッフのなかから鈴木義男氏（強化委員、ジャスコ監督）が〝昇格〟の形で推され、承認をうけた。

竹野・男子監督は、49年6月就任以来4年目を迎え、鈴木・女子新監督にしても、すでにナショナルチームのコーチとして3年のキャリアがあり、プレイヤーが男女とも若返っただけに、両氏の経験を活かした老巧な指導手腕が大いに期待される。

男子コーチングスタッフは、モントリオールへの推進役・東嘉仲氏（強化委員）が引きつづいて残ったほか、新たに本田洋氏（大阪イーグルス）が加えられたのが目をひく。

本田コーチは、今春のアジア選手権までGKのレギュラーとして日本ディフェンスの要（かなめ）をつとめ、その円熟したキーピングは、いぜん国内最高といわれる。

竹野監督の若返り構想から、ナショナルプレイヤーとしては〝引退〟したが、その経験と指導力を買われ、若手コーチの誕生となった。

女子は、鈴木新監督とともに前年までコーチングスタッフを編成していた池田鉄哉、藤原侑氏（ともに強化委員）が残留、白神邦雄氏が新任された。

池田氏は日本ビクター、藤原氏は日体大、白神氏はブラザー工業といずれも国内トップチームの監督。

男女ともコーチングスタッフに任期は定められていない。

なお、男子ヤングナショナルの専任コーチ（監督）は、強化委員会では若手の登用を望み、交渉を進めていたが、有力候補者が現役プレイヤーとして活躍中のため難航結局この日までリストアップができず当分の間、空席とされた。

渡辺慶寿強化委員長は、今秋までには人選を終わるとしている。

若く、大きい新メンバー

内外最大の関心を集めていたナショナルチームは、男女とも思い切った新旧交代が試みられた。

男子は現役学生4名を含み平均年令23才、しかも170cm台が3名を数えるだけという大型、平均身長182・2cmは、史上最高といわれたモントリオール代表12名の180・8cmをも上廻る。

女子は実に17名が新人。170cm台の19才トリオがなかでも目立つ。

なお、ナショナルチームは男女とも、今後は年度毎にメンバーを発表せず、今回のメンバーに随時有力選手を加えていく方針である。

第1回合宿は男子が7月21日から30日まで、女子が7月24日から30日までいずれも名古屋の予定。

◇ナショナルチーム・コーチングスタッフ◇

役職	氏名
・男子監督(強化コーチ)	竹野　奉昭（40才）
・男子コーチ	東　嘉仲（39）
	本田　洋（30）
・ヤング担当コーチ	～未　定～
・女子監督(強化コーチ)	鈴木　義男（43才）
・女子コーチ	池田　鉄哉（35）
	藤原　侑（35）
	白神　邦雄（30）

◇男子ナショナルチーム（18名）◇

	氏名	年令	所属	身長	全日本入り
・GK	福井　秀人	24才	湧永薬品	180cm	初
	○柴田　正章	23	本田技研鈴鹿	187	49年1月
	須波　雅人	20	筑波大3年	184	初
	井藤　英忠	19	日体大1年	184	初
・FP	○中井　武三	28	大同特殊鋼	181	44年2月
	○花輪　博	26	大同特殊鋼	180	45年4月
	柳川　実	23	大同特殊鋼	176	49年1月
	○蒲生　晴明	22	大同特殊鋼	194	48年8月
	中本　濤明	22	大同特殊鋼	184	52年2月
	○穂積　豊彦	24	湧永薬品	180	49年1月
	津川　昭	24	湧永薬品	180	49年1月
	○佐藤　要二	26	本田技研鈴鹿	181	47年3月
	○佐々木健一	26	三景	170	47年3月
	斉藤将一郎	23	秋田教員	187	48年8月
	斉藤　幸司	23	大崎電気	175	49年1月
	池ノ上孝司	21	日体大4年	185	初
	生駒　靖夫	21	京都産大4年	184	初
	志賀　良弘	21	大阪体大3年	188	初

◇女子ナショナルチーム（23名）◇

	氏名	年令	所属	身長	全日本入り
・GK	丸山加代子	20才	立石電機	166cm	初
	山本　福代	22	ブラザー工業	164	初
・FP	○加藤美起子	22	日本ビクター	165	49年10月
	○穂積美保子	21	日本ビクター	168	49年10月
	斉藤ゆき子	21	日本ビクター	156	初
	小島　和子	21	日本ビクター	164	初
	○松下　仁美	22	ジャスコ	163	49年10月
	○河田　栄子	21	ジャスコ	167	49年10月
	鈴木　洋子	22	ジャスコ	161	初
	木戸ひとみ	19	北国銀行	173	初
	千歩　康子	19	北国銀行	171	初
	中山　和代	19	北国銀行	160	初
	○紀野奈々美	21	立石電機	166	49年10月
	池渕　澄江	20	立石電機	160	初
	折口　律子	23	東京重機	150	初
	横山祐美子	20	東京重機	159	初
	藤井日出子	21	日体大4年	164	初
	寺尾真知子	21	日体大4年	167	初
	○小森久里子	22	ブラザー工業	166	50年7月
	甲斐　恵子	22	東京女体大4年	155	初
	清水みよ子	20	東北ムネカタ	164	初
	森戸由起子	20	筑波大3年	157	初
	島田さゆり	19	日立栃木	172	初

・右欄の年月は全日本入り時を示す
・○印はモントリオールオリンピック代表

全日本男女 長期展望に立ち新旧交替

姿消す木野、本田、藤中、島田、古佐原ら

日本協会はモスクワオリンピック（一九八〇）につながる新しいナショナルチームの全ぼうを明きらかにした＝1頁所報。

コーチングスタッフを実績中心の無難な顔ぶれで揃えたのに対し、プレイヤーは、予想以上の切り替えで、内外の反響も大きい。

新ナショナルチームのプロフイールを追いながら、その周辺を探ってみよう。（杉山）

男子

□……木野（湧永薬品）、藤中（大同特殊鋼）、本田（大阪イーグルス）の名がついに消えてしまった。

ナショナルチームの柱であり、要であり、国際的には〝日本の顔〟でもあった彼らが、いかに時の流れとはいえ、いつか、このような日が来るのは判っていたとはいえ、現実にリストにその名を見出せないのはあまりにも淋しい。

このほか、松原（大同特殊鋼）、菊池（稲球会）の両モントリオールオリンピック代表や、飯田（大崎電気）、村田（三景）、平野（海上下総）ら〝常連〟の姿もない。

□……4月以来、強化委員会はナショナルチームの基本編成方針を念入りに協議、次のような決定をみた。

「チームプレーに徹し、大型化とスピード化に対応できる肉体的・精神的・試合展開力にすぐれていること。また、その可能性のあるもので、あくまでも一九七八年の世界選手権（デンマーク）、一九八〇年のモスクワ・オリンピックを目指し、一部は一九八四年のオリンピックへつながる長期的展望にたつものである」。

優先された「将来性」

□……このため、日本リーグなどで、現役として冴えたプレーをみせる選手たちも、「可能性」の点で、新鋭にその座を譲ったのだ。

アマチュアに引退はない、といわれ、事実そうでもあるが、ことナショナルチームにかぎっては「カムバック」は、よほどのことがない限り難しい。

ミュンヘン・オリンピック後の近森、野田、下里、有永らの退陣いままた木野、藤中、本田らが去って、近年の日本ハンドボール界隆盛の立役者たちは、中井（大同佐々木（三景）を残すだけとなったのである。

ある意味では、球史に一つの節目（ふしめ）をつけた画期的な新ナショナルチームというべきであろう。

□……若返り構想は、竹野監督―東コーチのラインで打ち出され、渡辺慶寿強化委員長、幸田末之男子部長らがバックアップ。当然ながら「成算充分」としている。

その裏付けは、中井、佐々木、佐藤（本田技研鈴鹿）、花輪（大同特殊鋼）の安定をベースに、蒲生（大同特殊鋼）、穂積（湧永薬品）のパワーアップ、斉藤幸（大崎電気）、津川（湧永薬品）の進境をプラス材料としているものだ。

このほか、柳川（大同特殊鋼）は第8回世界選手権（昭49）で、中本（大同特殊鋼）は今春のアジア選手権で、それぞれ実績がありモスクワまでには、モントリオール代表を上廻るチーム編成が可能という。

□……この間には、池ノ上（日体大）、生駒（京都産大）、志賀（大阪体大）の学生トリオも伸びようし、学生界1・2年生クラスに逸材が多いという評判も高い。

本田がコーチ転出のGK陣は、切り札・柴田（本田技研鈴鹿）が健在、福井（湧永薬品）の巧さ、須波（筑波大）、井藤（旧姓・井本、日体大）の両大型新人とバラエティに富んだ。

GK、FPとも今後なお補充があると伝えられ、チーム内の競争もかつてないものになろう。

〝若さ〟に不安はないか

□……それでは、不安はまったくないのだろうか。

過去の実績を切り、すべて将来に目標をしぼった〝ベテラン無視〟のいきかたに疑問はないだろうか

日本リーグの某有力チーム監督は「ハンドボールほど経験の要るスポーツで、ただ将来性という観点から、充分力のある、しかも主力選手をはずすのはどういうものか」と批判的だし、初めて選手名簿が公けにされた6月18日の常務理事会では、大たんな新旧交替に長時間の議論があったと伝えられ

竹野泰昭男子監督

鈴木義男女子監督

「ハンドボール」

52年7月号（第154号）目次

ナショナルチーム決まる……(1)
ナショナルチームの周辺……(2)
日本リーグ……(6)
会長杯実学団女子大会……(8)
全日本自衛隊選手権……(10)
国内トピックス……(11)
プレスルーム……小山敏昭……(13)
各地学生リーグ……(14)
インターハイ目指して（上）……(21)
海外トピックス……(27)
ブロック高校選手権……(29)
各地の記録……(31)

【表紙写真】日本リーグで2連勝を狙う大同特殊鋼は三景の粘りをふり切って好スタート。三景守備陣を鋭くつく花輪。
（6月12日・東京体育館）
撮影・山田　真市

る。

まして、日本体協とJOC（日本オリンピック委）の、重点強化査定ではBランクからもはずれ、浮上のチャンスは、来春の世界選手権唯1回といわれるだけに、「若さがもろさになって下位に甘んじたら、どうする」という声も少くはない。

□……監督就任4年目を迎える竹野監督は、「目先のことだけを考えるのならやさしい。モスクワさらには一九八〇年代にメダルをという宿題を果たすには、この交替は、遅いという批判はあっても早すぎることはない」といい切る。

大型化のためには、GKだった斉藤将（秋田教員）をFPに転向させて起用するという自案も押し通している。遠大な理想への船出とあれば少々の波風はおきて、また当り前かもしれない。

遅れた〝ヤング〟の指導者

□……男子頂点強化で、ただ一つ気がかりなのは、ヤングナショナルの専任コーチ（監督）の決定が遅れたことである。

強化委では、ミュンヘン・オリンピック代表レベルの若手に、ヤングの指導をゆだねる構想をもち、5月以来折しょうをつづけていたが、候補者がプレイヤーとして〝現役〟であったため、承諾を得るまでに至らず、ここだけブランクとなってしまった。

すでにプレイヤーについて、本誌でも伝えられたとおり、各都道府県高校界を中心にして、候補選手の推せんが始まっているだけに、せっかくのジュニア対策を中途半端に終らせてはなるまい。

どう補う経験不足

女子

□……選手寿命が男子に比べて短かい女子、しかもオリンピックという大目標達成直後だけに、一気に17名の新人がリストアップされている。

鈴木新監督も「新チームをあずかるようなもの。これまでのことは一切忘れてかかる」という。

島田、蔵田（ともに立石電機）古佐原（東京重機）の三名手が脱けたうえ、山下、和田（ともに立石電機）、久保（ジャスコ）もリストアップを前に辞退を示し、いやでも若返りとなったのだ。

パワーでは、この六選手は峠をこしていたが、得難いのはそのキャリア。

外国選手は20代後半からようやく一人前とみなされ、局面に応じた展開力の巧拙が、国際試合の一つのポイントになるだけに、簡単に穴は埋まりそうにない。

□……鈴木監督は「紀野、松下、河田、小森、加藤、額賀の6人を軸にして、どう若手が食いこんでいくか」とみるが、コーチ陣が、どう育てて「食いこませていくか」にむしろ成否がかかる。

新人の実績といっても、国内だけのもの。横地宇吉女子強化部長が「できたら世界選手権までにヨーロッパ遠征を」というのも、国際試合で、誰がどこまで通じるか現時点ではまったくつかめぬからだ。

島田や古佐原といったベテランでさえ「自分のプレーがなんとかできるようになったのは3回目の遠征……」というほどで、強化関係者が、この先どのような手を打つか注目される。

素質豊かな19才トリオ

□……素質という点からすれば、木戸、千歩（いずれも北国銀行）島田(日立)のハイティーン・トリオが、揃って170cm台ということもあり最右翼。

島田は、すでに昨年から日本リーグで射ちまくり、木戸、千歩は中山（北国銀行）とともに小松市女高(石川)時代に培った心技体を活かしている。

小島、斉藤（ともに日本ビクター）、清水（東北ムネカタ）、池渕(立石電機)らは、4月の日韓遠征に選ばれており、学生界を代表するロングヒッター藤井、寺尾（ともに日体大）らとともにどこまで紀野らオリンピック勢の技と力に追いつくか。

新・全日本の消長を握るグループでもある。

□……興味をひくのは大型化を目指すなかで折口、横山（ともに東

華麗なさい配、不屈の闘志　井薫氏退く

○……48年1月以来、昨夏のモントリオール・オリンピックまで全日本女子の監督をつとめた井薫氏（立石電機監督、中大出、38才）が勇退した。

同氏の決心は昨夏オリンピック直後だったようだが、日本協会の発表は6月の理事会席上。

この3年余、第5回（昭48、ユーゴ）第6回（昭50・ソ連）と2回の世界選手権で指揮をとり、女子監督としてはかつてない長い球歴を刻んだ。

○……大洋デパート―立石電機―全日本を問わず、井氏のさい配を一口でいうなら〝華麗〟。

冷静な戦況判断と思い切った戦術で、ともかくも、東欧勢の牙城へ着実に迫っていった。

「強さばかりでなく、観て面白いハンドボールが狙い」といったのが三十過ぎて間もなくの頃。ナミの監督ではない。

○……熊本在住のため、本部役員と意見が食いちがったこともしばしば。「遠くに離れていた利点もありました」と苦笑いするが、密室試合、3大陸代表決定戦と相次ぐ難関を乗りこえ、しかも、49年には大洋デパート廃部という不運に見舞われながら、全日本女子を率いた不屈の闘志に日本協会筋の評価は高かった。

○……「これからは、熊本で優秀な選手を送り出すことに精出しますよ」。モントリオール帰国後に聞いた静かな引退の弁だった。

その抱負に期待をかけつつ、3年間の〝苦闘〟に、ご苦労さまとねぎらいの言葉を贈りたい。

【写真はベンチで指示する井監督】

京重機)、森戸(筑波大)、甲斐(東京女体大)といった小柄なテクニシャンが選ばれていること。

鈴木監督は「歴代の全日本で活躍した選手の共通点は敏捷性の高いこと。フットワークのよさと鋭さを兼ねたこれらの選手は攻撃要員として手ばなせない」とし、ディフェンス面では大型選手にスイッチする「攻守分業制」という新構想の一端も明きらかにしている。

□……和田、久保のいないGK陣も問題。選ばれた丸山(立石)、山本(ブラザー工業)は、テクニックや上背において先輩二者に見劣りしないものの、国際的な舞台は日韓戦(遠征)だけ。打点の高い欧米勢に対する策をどう立てるかこれも、コーチングスタッフの手腕にかかろう。

□……課題はまだある。韓国の追撃がどの程度のものなのか。

オーバーに韓国の実力が伝えられているという見方もあるが、日本を射程距離に捉えたとする韓国側の意欲は増すばかり、という情報もある。

藤原侑コーチが、学生交流で訪韓しており、7月の初合宿までには、一応のデータが揃うとみられるが、「警戒するにこしたことはない」(鈴木監督)。

□……日本協会・荒川清美理事長は「外部では男子より女子に評価が高いようだが、チーム造りははるかに女子のほうが難しいし、時間がかかる。主力となるべき選手が6人残ったとはいえ、新チームみたいなものだ。

しかも世界選手権の予選まで1年足らず、実のある強化プランが欲しい」と、男子よりも気がかりな様子。

将来性、春秋に富むという点では男子以上の希望に満ちているがさへの不安、とりわけゲームメーカーが、どう育つかは大きなテーマであろう。

第9回世界選手権アジア地域予選

代表 ― 日本・台湾 の勝者 対 クウェート・サウジアラビア の勝者

代表	
日本	台湾
クウェート	サウジアラビア

(いずれも2回戦制)

トレーニングドクターに 石井喜八氏

日本協会強化委員会は、決定の遅れていたトレーニングドクターに石井喜八氏(日体大教授)を委嘱、トレーニングドクター群として阿部徳之助、近森克彦、氷海正行の各氏を決めた。

近森、氷海両氏は、今回、ナショナルチームのコーチとなった本田洋氏とともにミュンヘンオリンピック代表選手。

同大会の選手が、次々とトップ層の指導陣へ加ってきたのは注目してよい。

大阪、神戸で決勝を予定
～今秋の世界選手権予選～
日本、まず台湾と対戦

IHF(国際ハンドボール連盟)は、今秋の第9回世界選手権Aグループ各大陸予選のうち、アジア地域の予選組み合わせを別掲のように発表した。

参加国は本誌既報のとおり日本、クウェート、サウジアラビア、台湾の4カ国。トーナメント法式での組み合せ採用は、IHFがようやくアジアの諸情勢をのみこん若できたことを示すものだ。各試合とも2試合。

◇

同予選の組織・管理者である渡辺和美アジア選出理事は、5月26日付文書でIHFがヨーロッパから派遣してくるレフェリー(2名)と役員(1名)の旅程を経済的にするため、次のようなスケジュールを参加4カ国に示し、日本協会も原則的に了承した。

①クウェート×サウジアラビアは10月7日第1戦、9日第2戦。いずれもサウジアラビアで。

②日本×台湾は10月14日第1戦、16日第2戦。いずれも台湾で。

③ ①の勝者対②の勝者の決勝戦2試合は10月21日第1戦、23日第2戦。

◇

日本協会は、世界選手権アジア予選の組み合せから、対台湾戦は過去の実績に照らし日本の勝利を確信できるとして、アラブサイドの勝者との決勝戦2試合を日本で開くことに決めた。

これは、渡辺IHF理事の意向もあってのことと伝えられ、当初東京での開催を計画したが、会場を確保できず、現時点では21日の第1戦を大阪、23日の第2戦を神戸で開く公算が強い。

日本で、世界的大会のアジア予選が行われるのは46年秋のミュンヘンオリンピック(男子)予選、50年2月の第6回世界女子選手権予選についで3度目。

クウェート不参加説も

日本協会は6月24日夜、クウェートが世界選手権アジア予選の出場を取り消すようだ、という情報(未確認)を得た。

「スペインカップ」に招かる

日本協会は、来年2月の第9回世界選手権Aグループを前にスペイン協会から「スペイン・カップ」フインランド協会から国際試合(2試合)の招待をうけたことを明らかにした。

「スペイン・カップ」はオリンピックチャンピオンのソ連、ユーゴ、ルーマニア、スペイン各ナショナルチームが参加、来年1月3～8日(または6～12日)に開く

女子選手に五輪入賞バッジ

JOC(日本オリンピック委員会)は、6月23日のオリンピックデーで、初の試みとしてオリンピック歴代入賞者に対し記念バッジを贈り表彰した。

このバッジは、直径1・5センチのJOCマークをオリーブの葉で囲んだデザインで銀製。夏、冬両オリンピック451名の入賞者に授与されたが、ハンドボール界からは、昨年のモントリオール大会で5位となった女子チームの12選手が受けた。

ちなみに、このバッジ保持者は国内でのあらゆるアマチュア競技会にフリーパスで入場できる。

記念バッジを受けた女子ハンドボールチームの12名は次のとおり

穂積美保子、河田栄子、加藤美起子、紀野奈々美、久保徳子、蔵田照美、古佐原ひろ子、小森久里子、松下仁美、島田夏枝、和田祥子、山下恵美子(ABC順)

スポーツQ＆Aシリーズ

実戦ハンドボール

渡辺慶寿・大西武三・川上整司　著

ハンドボール選手が試合や練習場面で直面する技術上の問題や練習の仕方、トレーニング、コンディションづくりの問題について、実戦的立場から一問ずつ具体的な解決策を与えた選手・コーチの相談相手ともいうべきQ・A書。

A５判・278頁　￥1500

●技術編（67項目）パス技術／シュート技術／オフェンス技術／ディフェンスの技術／ゴールキーパーの技術●作戦・戦術編（23項目）オフェンス／ディフェンス●トレーニング編（15項目）●チーム管理編（７項目）●ルール審判編（38項目）

写真と図解による ハンドボール 新訂版

●荒川・石井・北川著　〝投げる〞〝捕える〞から〝スカイプレイ〞までの競技技術を科学的に解説し、実戦に役立つ練習法を体系化した。視覚による立体的構成はわかりやすい。

A５判・186頁　￥980

〔新版〕スポーツ審判 ハンドブック

●佐々木・西山・永嶋・豊田編集　発行以来好評を博した「審判事典」の改訂新版。最新のルールと審判法を収める。収録種目28。〔ハンドボール執筆＝岡前義春〕

菊判・868頁　￥4200

〒101 東京都千代田区神田錦町3-24　大修館書店　☎294-2221〈大代表〉振/東9-40504

スリップミスをなくせ!

ノンスリップ底の《タイガー®》なら動きは思いのまま。

タイガー®
ハンドボールLE

サイズ 22.5〜28.0／白に赤のオニツカライン®
甲は良質表革使用／￥9,000

Onitsuka Tiger
スポーツの世界を支える――
オニツカ株式会社

勝利へつなぐ特殊意匠底の専用シューズ

日本リーグ開幕

大同、早くも4勝をあげる

女子はブラザーが好スタート

2年目を迎えた日本リーグは、今年から前、後期の二期制（男女2回総当り・各56試合）を採用、国内最高峰にある男女各8チームが参加して、6月11日その幕をあけた。

第2週（4日間）を終って、早くも前期日程の二分の一に近い23試合が消化されたが、男子はV2を狙う大同特殊鋼（愛知）が順調にとび出し4連勝、対抗の湧永薬品（大阪）もまずまずの出足をみせた。

しかし、前年3位の本田技研鈴鹿（三重）が、大阪イーグルス（大阪）、三景（東京）の気力の前に屈し2敗。イーグルスは絶好調で2勝1敗という好スタートを切った。

混戦といわれる女子は連覇を狙う立石電機（熊本）がホームコートでジャスコ（三重）に敗れる波乱の幕あけ。日立栃木（栃木）の充実、大崎電気（埼玉）の復調、大和銀行（大阪）の新進ぶりで見応えのある内容がつづき、今後の展開が大いに楽しみ。特にブラザー工業（愛知）の躍進は注目される。

なお、前期は7月17日まで熱戦がつづき、後期は10月9日から11月27日までの予定。順位などは前、後期の通算成績で決まる。

男子第1週

6月11、12日東京体育館、大阪市中央体育館で、あわせて5試合が行われた。

▽第1日・東京（観衆二千五百）

大同特殊鋼（愛知）30（14−2／16−5）7 三菱レ大竹（広島）

【三菱】		S	得
GK	藤本	0	0
GK	中嶋	0	0
FP	善本	5	3
FP	岩木	3	0
FP	岡村	3	0
FP	大林	6	1
FP	大江	6	2
FP	武田	9	1
FP	末弘	0	0
FP	田中	0	0

【大同】		S	得
GK	柳川兄	0	0
GK	倉谷	0	0
FP	花輪	8	5
FP	中井	9	8
FP	柳川弟	5	2
FP	松原	4	2
FP	大原	7	5
FP	蒲生	10	7
FP	浦田	1	0
FP	藤中	3	1
FP	中本	0	0

（審・山下、高橋）

3047（2）　PT　（2）327

○……前半25分14－0。初登場で緊張する三菱レの心中を見透かしたかのように、大同はいきなりスパート。

新参加の巨砲・蒲生の2点連取に始まって、あっという間に大量点をもぎとった。

立ち上りのダメージに、三菱は最後までペースを取り戻せず、そのうえ凡失も重っていいところがなかった。

三景（東京）20（9−11／11−5）16 大崎電気（埼玉）

【大崎】		S	得
GK	原田	0	0
GK	福木	0	0
FP	佐藤	0	0
FP	井手	10	4
FP	橋本	1	1
FP	坂口	1	1
FP	斉藤	12	6
FP	新田	0	0
FP	能波	10	2
FP	椿原	7	2
FP	武藤	2	0
FP	家村	0	0

【三景】		S	得
GK	佐藤	0	0
GK	小林	0	0
FP	佐々木	9	6
FP	鈴木	1	0
FP	山村	7	1
FP	川島	3	1
FP	中馬	6	3
FP	村田	19	8
FP	西窪	4	1
FP	中村	0	0
FP	飯島	0	0
FP	内藤	0	0

（審・斉藤、千野）

2049（3）　PT　（2）4316

○……開幕を飾る好カード。この試合に勝って波に乗りたい気持ちは両者同じ、熱がこもった。動きの速い大崎が押し気味で前半なかばにみせた斉藤の3点連取などから、そのリードを後半15分まで持ちこした。ところが安全圏に入るべき、三景・山村の5分間反則退場の絶好機で、フォーメーションにこだわりすぎて加点できなかったばかりか、村田、中馬、佐々木らに攻めこまれ20分16－15と逆転されてしまった。

勢いづいた三景は、そのあとさらに2点を加え、焦る大崎を押し切った。

▽同・大阪（観衆二千七百）

本田技研鈴鹿（三重）18（8−10／10−6）16 日新製鋼（広島）

【日新】		S	得
GK	三田	0	0
GK	佐野	0	0
FP	吹上	3	0
FP	下茂	13	4
FP	脇若	6	1
FP	吉田	0	0
FP	越智	13	6
FP	大庭	3	0
FP	関本	7	0
FP	徳田	10	5
FP	村川	0	0
FP	松木	0	0

【本田】		S	得
GK	柴田	0	0
GK	細野	0	0
FP	田上	5	4
FP	佐藤	22	8
FP	喜井	8	3
FP	豊岡	6	2
FP	矢野	2	1
FP	西田	1	0
FP	高木	0	0
FP	川上	0	0
FP	松永	0	0
FP	嶋林	0	0

（審・丸岡、光島）

1844（2）　PT　（2）5516

○……日新は後半12分10－15とリードされていたが、そのあと下茂、徳田の好シュートで追いこみ20分14－16と盛りあげた。

苦しむ本田は23分田上で17－14突きはなしたかにみえたが、日新も粘り25分PT、28分徳田で1点差、場内を沸かせたのだが、29分田上にゴールを許し、逃げこまれた。本田は序盤、守りの強さで13分5－1とした余裕が、最後に活きた感じだが、逆に日新は、この立ちあがりの乱れが悔やまれよう。

三景、粘り切れず

▽第2日・東京（観衆三千）

大同特殊鋼 27（12−8／15−10）18 三景

○……立ちあがり川島、中馬で2－0とした三景の戦いぶりに期待がかかったが、ディフェンスが荒く、15分までに三本のPTをとられるなどして、20分には6－10と形勢を変えられた。

【三景】		S	得
GK	佐藤	0	0
GK	小林	0	0
FP	佐々木	6	3
FP	山村	6	1
FP	村田	14	3
FP	川島	3	2
FP	鈴木	5	4
FP	中馬	4	2
FP	西窪	9	3
FP	中村	0	0
FP	飯島	0	0
FP	内藤	0	0

【大同】		S	得
GK	柳川兄	0	0
GK	倉谷	0	0
FP	中井	6	3
FP	花輪	7	4
FP	蒲生	14	9
FP	大原	6	3
FP	柳川弟	3	3
FP	松原	4	1
FP	中本	2	0
FP	藤中	6	4
FP	浦田	0	0

（審・岡前、佐野）

2748（4）　PT　（4）4718

それでも三景は必死に点差を縮めようと攻め口やリズムを変えて挑んだが、余裕のでた大同守備陣を切り崩すことができなかった。汗のためか、両選手ともキャッチミスが多かったのはいただけない。

イーグルス、本田を破る

▽同・大阪（観衆千二百）

大阪イーグルス（大阪）17（8−5／9−8）13 本田技研鈴鹿

○……本田技は動きに自信が感じられず、そのスキをイーグルスのベテラン福井、安達らにつかれ、5分3－0となった。

おことわり

日本リーグでは今季から国内大会で初の試みとして、個人シュート率の割り出しを行うことに決め、シュート数を公式記録に取り扱っています

本誌は、日本リーグに限り個人テーブルに発表されたシュート数（S）を組みこみます。

【本田】	S	得		【大阪】	S	得
柴田	0	0	GK	本田	0	0
細野	0	0	GK	広川	0	0
田上	11	7	FP	高橋	4	2
佐藤	9	3	FP	福井	13	5
喜井	9	2	FP	池本	12	1
豊岡	4	1	FP	安達	6	4
矢野	4	0	FP	河原崎	5	2
西田	2	0	（審・狩野 幸田）	早川	3	1
高木	0	0		橋本	4	2
川上	0	0		足羽	0	0
松永	0	0		北居	0	0
嶋林	0	0		極塚	0	0

1747（0）PT（1）3913

本田技はようやく8分喜井が初ゴールしたが、イーグルス優勢の展開はかわらず29分8—5となった。

後半になると本田技は積極的に射って出て5分8—8、6分再び先行されたが、すぐに取り返し10分田上で10—9と初のリードを奪った。

しかし、イーグルスは粘り強く中盤3点をあげ再び自分のペースに相手を誘い、相手のエース佐藤をマークする作戦も当った。

日本リーグ勝敗表（第2週まで）

（男子）	同	湧	本	崎	三	イ	日	菱	P
大同	…			○	○		○	○	8
湧永		…			○	○			4
本田技			…		●	●	○	○	4
大崎	●			…	●	●			0
三景	●	●	○	○	…				4
イーグ		●	○	○		…			4
日新	●			●			…	○	2
三菱レ	●			●			●	…	0

（女子）	立	ビ	重	ブ	ジ	日	崎	大	P
立石	…				●	○		○	4
ビクタ		…	○						2
重機		●	…			●	●		0
ブラザ				…	○			○	4
ジャス	○			●	…				2
日立	●		○			…	●	○	4
大崎			○			○	…		4
大和	●			●		●		…	0

特に20分すぎの4分間は橋本の巧技などで連続4ゴール、24分16—10とする圧倒ぶり。鮮やかに前年3位の本田技を屈伏させた。

大阪はGK本田の堅守が相変らず光った。

〔個人得点5傑（第1週）〕①蒲生（大同）16②田上、佐藤（ともに本田）、中井（大同）、村田（三景）各11

第2週速報

▽第1日（6月25日・広島県立体育館、熊本市体育館）

日新製鋼 19（8—7、11—7）14 三菱レ大竹

湧永薬品（大阪） 17（7—5、10—4）9 大阪イーグルス

大同特殊鋼 26（10—7、16—7）14 大崎電気

三景 21（9—11、12—8）19 本田技研鈴鹿

▽第2日（26日・福岡市民体育館、熊本市体育館、山口県立体育館）

本田技研鈴鹿 13（7—3、6—8）11 三菱レ大竹

イーグルス 大崎も食う

大阪イーグルス 19（8—5、11—12）17 大崎電気

大同特殊鋼 29（12—5、17—10）15 日新製鋼

湧永薬品 22（12—3、10—9）12 三景

ジャスコ、立石を破る

勝点4が4チーム

女子第1週

6月11、12日大阪市中央体育館、東京体育館で、あわせて5試合が行われた。

▽第1日・大阪

ブラザー工業（愛知） 10（6—5、4—4）9 ジャスコ（三重）

【ジャ】	S	得		【ブエ】	S	得
久保	0	0	GK	山本	0	0
山本	0	0	GK	屋比久	0	0
平田	3	0	FP	山中	3	1
松下	8	5	FP	則武	1	1
林	1	0	FP	小森	8	1
金田	2	0	FP	宮平	8	5
鈴木	0	0	（審・望月 山本）	植田	3	1
河田	8	2		中川	3	1
笠	0	0		岩井	0	0
若田	3	2		宮木	0	0
横山	0	0		平井	0	0
				岡山	0	0

1026（0）PT（1）259

○……ジャスコは10分4—1と好スタートだったが、東海地区での顔合せで自信をもつブラザーはじわじわと追いあげ16分同点、24分宮平のミドルで逆転した。

後半はまったくの互角、わずかにブラザーが先行したが、ジャスコも松下で反撃の地固めをしたあと、18分河田で9—9、場内を沸かせた。

しかし、積極さの出てきたブラザーは21分宮平が再び貴重な勝ち越しシュートを決め、勝負を決めた。ジャスコは鈴木をヒザの故障で欠いたのが響いた。開幕を飾るにふさわしい好試合。

日立栃木 12（6—1、6—4）5 大和銀行（大阪）

【大和】	S	得		【日立】	S	得
中尾	0	0	GK	粂谷	0	0
丸山	0	0	GK	高橋	0	0
岡村	0	0	FP	山井	6	2
清水	0	0	FP	晴山	4	2
富家	7	0	FP	吉田	0	0
増永	5	3	FP	小根沢	4	0
義川	1	0	（審・藤本 福井）	島田	13	3
宮本	12	2		荒木	6	3
西田	2	0		田村	1	0
東木	1	0		大輪	1	1
内海	0	0		山戸	1	1
中武	0	0		鈴井	0	0

1236（4）PT（2）285

○……新進・大和に注目が集ったが、五百人近い応援団の声援をうけて選手はコチコチ。前半は20分のPT1点だけだった。

日立は立ち上り山井、荒木で3—0としたあと、ホープ島田が豪快にロングをとばし優位に立った。

後半、大和も落ち着き増永を中心に頑張ったが、大勢をくつがえすには、前半の傷口が大きすぎた。

立石、日立に苦しむ

▽第2日・大阪

立石電機（熊本） 10（6—3、4—5）8 日立栃木

○……両チームの今季の戦力を占ううえで見逃せぬ一戦。テンポが出てきたのは10分すぎ

【日立】	S	得		【立石】	S	得
粂谷	0	0	GK	和田	0	0
高橋	0	0	GK	丸山	0	0
山井	0	0	FP	篠田	11	5
島田	13	4	FP	山下恵	2	0
大輪	0	0	FP	平下	3	1
小根沢	0	0	FP	紀野	8	3
荒木	6	2	（審・新村 山本）	林	0	1
吉田	4	1		池渕	6	0
田村	1	1		橋ノ口	0	0
山戸	0	0		桑原	1	0
晴山	0	0		姫野	0	0
鈴井	0	0		羽立	0	0

1031（0）PT（0）248

立石は篠田、紀野で15分4—1、日立も島田で返して粘ったが、立石は16分林、17分紀野が僅かなスキをつく巧技で6—2としたのが大きかった。

後半、日立は10分6—8と追いあげたが、立石はそのあと2点を加え突き放した。

立石はやはり蔵田、島田の抜けた穴が大きいが、要所を逃さぬまとまりはさすがで、その点、日立は波に乗り切れぬ若さが、まだのぞく。

大和、善戦も及ばず

ブラザー工業 12（6—3、6—4）7 大和銀行

【大和】	S	得		【ブエ】	S	得
中尾	0	0	GK	山本	0	0
丸山	0	0	GK	屋比久	0	0
宮本	7	2	FP	小森	9	4
富家	11	2	FP	宮平	9	3
増永	8	2	FP	岩井	3	2
義川	4	0	FP	中川	2	0
西田	1	1	（審・望月 福井）	山中	3	1
内海	0	0		植田	3	1
岡村	1	0		則武	1	0
東木	2	0		宮本	1	1
清水	0	0		岡山	1	0
中武	3	0		平井	0	0

1232（1）PT（1）377

○……ブラザーは絶好調の宮平が立ちあがり2点、宮本のPTで6分3―0としたが、大和もひるまず2点を返して、そのあとの展開に興味をもたせた。しかし、切り札に小森をもつブラザーが地力では一枚上。徐々に点差を開き、後半12分10―4と先がみえた。

大和も第1日とはみちがえるほどよく走り、GK中尾の好守もあって食い下り、熱のこもった試合だった。

ブラザーは、動きに積極さが加わり、今年はかなり期待できそうだ。

大崎、重機に逆転勝ち

▽同・東京

大崎電気（埼玉）9（5―5、4―3）8 東京重機（東京）

○……大崎が鮮やかな逆転勝ち。後半13分6―8から大場の連続ゴールで同点、21分席定がみごとなインターセプトによる独走で殊勲のゴールを突き刺した。

重機にも再三チャンスはあったが、すべてボンヘッドでつぶした。GK佐久間が好調な守備をみせていただけに攻撃の不出来で自から1勝を捨ててしまったような試合だった。古佐原はベンチに居るもののプレーをあきらめており、重機は苦しいシーズンになりそう。

【重機】		S	得
GK	佐久間	0	0
FP	鈴木	9	2
	折口	4	2
	古谷	6	1
	宮下	3	0
	寄田	0	0
	横山	11	1
	細谷	5	2
	沖山	0	0
		38	8

得	S	【大崎】	
0	0	中島	GK
0	0	藤村	GK
1	4	中村	FP
2	9	席定	
1	5	工藤	
0	0	内野	
4	15	大場	
0	3	深堀	
0	0	佐々木	
1	4	西	
0	6	陽田	
0	0	小笠原	
9	46		

（審・大塚、佐分）

9 46（0）PT（0）38 8

（個人得点5傑（第1週））①宮平（ブ工）8 ②島田（日立）7 ③松下（ジャ）、篠田（立石）、増永（大和）、荒木（日立）、小森（ブ工）各5

第2週速報

▽第1日（6月25日・熊本市体育館、広島県立体育館）

立石電機 19（7―3、12―2）5 大和銀行

日立栃木 16（11―2、5―1）3 東京重機

▽第2日（26日・山口県立体育館、熊本市体育館、福岡市民体育館）

日本ビクター（茨城）21（12―2、9―2）4 東京重機

ジャスコ 12（8―5、4―4）9 立石電機

大崎電気 9（5―4、4―3）7 日立栃木

乗鞍少年団キャンプ 8月9~11日に

岐阜協会は、本誌前号17頁でお知らせした「全国スポーツ（ハンドボール）少年団交歓会」の日程を8月9日から11日までに訂正すると発表した。

前号の日程は8月4~6日となっていたもの。会場は高山市岩井町「国立乗鞍青年の家」

7月9、10日の日程変わる

日本リーグは前期日程（本誌前号1頁）のうち参院選挙などの関係で9″、10日の一部を次のように変更すると発表した。

▽7月9日大垣スポーツセンターの3試合はとりやめ。男・大崎電気×三菱レイヨン大竹戦は9日午後5時から岐阜県民体育館で、女・東京重機×大和銀行、日本ビクター×ジャスコの2試合は10日午後5時から岐阜県民体育館で行う

▽7月10日四日市体育館の3試合は、9日にそのまま繰り上げ。カードは午後1時30分から女・大和銀行×日本ビクター、2時40分から女・ジャスコ×東京重機、3時50分から男・本田技研×湧永薬品

▽7月10日栃木県体育館の3試合は、いずれも山梨県長坂高体育館（山梨県長坂町）で。午前11時から女・立石電機×大崎電気、12時10分から女・ブラザー工業×日立栃木、1時20分から男・三景×日新製鋼。

☆原稿募集☆「第2回日本リーグ前期」に関する読者の寄稿を歓迎します。戦評（250字以内）、意見（800字程度）、試合写真（白黒）などを編集委員会へ。〆切り7月18日

北国銀行、圧倒の2連勝

～会長杯実業団女子～

第5回全日本実連会長杯全国女子実業団女子大会は、6月18、19の両日岐阜県の大垣スポーツセンターに4チームが参加して行われ北国銀行（石川）が3試合で73得点7失点という圧倒的な強味をみせ2連勝を飾った。

去年までこの大会で活躍していた大和銀行（大阪）が日本リーグに入り、刺激を与えたかにみえたが北国銀行が群を抜き、内容的には味気ないものだった。

日本リーグ、実業団リーグの"二部"化を目指すのか、親睦色を打ち出すのか、改めて検討しなおす時期だ。

北国銀行（石川）23（10―0、13―1）1 伏原紡織（愛知）

和歌山県商工信用組合（和歌山）11（5―5、6―4）9 三洋電機（岐阜）

伏原紡織 9（3―4、6―4）8 三洋電機

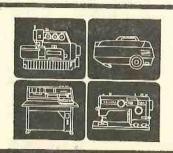
北国銀行 27（16―1、11―1）2 三洋電機

和歌山県商工信用組合 13（5―3、8―4）7 伏原紡織

北国銀行 23（10―3、13―1）4 和歌山県商工信用組合

【順位】①北国銀行3戦全勝②和歌山県商工信用組合2勝1敗③伏原紡織1勝2敗④三洋電機3敗。

ミシンから…
エレクトロニクスまで

工業用ミシン・家庭用ミシン・電子機器
編機・家庭電気製品・縫製附帯機器

ジューキ
東京重機工業株式会社
営業本部 東京都新宿区歌舞伎町23
電話03(203)8241(大代表)

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

福井県ハンドボール協会
会長　伊　藤　仁　和

ブリヂストン・タイヤ
那須工場・栃木工場

医薬品並に健康関連総合商社
（株）　小　田　島
本社　花巻市上町6—5　〒025 TEL01982-3-5162(代)
営業所　花巻，盛岡，水沢，一関，大船渡，釜石，宮古，久慈，青森，八戸，弘前，むつ，仙台，石巻，古川，気仙沼，秋田，大館，横手

総合ファッションメーカー
株式会社　ワ　コ　ー　ル
取締役社長　塚本幸一
東京・大阪・京都・名古屋・福岡・札幌

コロナとマークⅡの
岩　手　ト　ヨ　ペ　ッ　ト
本社　盛岡市上田２丁目　TEL(51)3211（代）

株式会社　久　保　田　鉄　工
代表者　久保田　広一
八尾市南本町四丁目九番一九号
TEL0729—23—0292

千葉県ハンドボール協会
会長　浮　谷　貞　雄

サイエンスの勝利＝抜群の機能性
ADDAX　BEST QUALITY SPORTS GOODS
日本ゴム株式会社
足利アサヒゴム販売株式会社
栃木県足利市弥生町15番地　0284—41—2167

株式会社　横　山　商　店
横　山　　豊
（第３回インターハイ準優勝清水商高主将）
清水市渋川468　TEL0543—45—3482

奈良県ハンドボール協会長
堀　内　俊　夫
〒632　天理市嘉幡町
TEL　07436—4—0132

住み良いくらし　住みよい環境
（株）　都　商　事　不動産部
（代）　小　野　瀬　都　男
〒329-06　栃木県河内郡上三川町大字上郷1893
TEL　028556—５５２５（代）

富士重工指定スバルサービス工場
（有）　野　田　商　会
野　田　　勉
（第９回インターハイ優勝清水商高選手）
清水市万世町１丁目69　TEL0542—52—6750(代)

京都府ハンドボール協会
副会長　立　石　孝　雄

かっこよくスポーツをしよう!!
チームのオリジナルユニホームを作ってみませんか
駿　河　ス　ポ　ー　ツ
（三景・本田技研鈴鹿・日本ビクター・中央大学納入店）
清水市　駅前銀座店 0543—64—4418
　　　　堂　林　店 0543—52—1397

屋内外電気工事設計施工
火災報知機設備施工
伊藤電機設備株式会社
代表取締役　伊藤仁和
福井市順化２丁目２番１号 〒910
TEL　営業部(0776)22-7800(代)　工事部21-2266(代)

ヨーロッパの味
タ　キ　ザ　ワ　ハ　ム
取締役社長　滝沢　武

静岡市ハンドボール協会長
松　永　秀　一
〒420 静岡市末広町１の３
TEL　0542—71—6240

加賀友禅
（有）　宮　口　染　工　場
金沢市油車町46　（店）31—2607
　　　　　　　　（工場）62—7820

ハンドボールのことなら！
アクメスポーツへ
有限会社アクメ三和・代表取締役　中倉健治
浦和市岸町4-20-11・TEL0488(22)1388・9295

金沢一流の名物，名産が一堂に揃う
金沢ステーションデパート
金沢駅地下・取締役社長　油谷外郷

下総（海上千葉）いぜん強味

全日本自衛隊

第9回全日本自衛隊選手権は5月19日から22日までの4日間東京・駒沢体育館を主会場にして全国から25チームが参加、トーナメントで争われ下総（海・千葉）と勝田（陸・茨城）が3年連続の決勝カードとなり、下総が前半の優位を活かして快勝、3年連続4度目～第5回の第3術科校を含む～の優勝を飾った。

3年目の少年は4チームが出場し、武山少年工科学校（陸・神奈川）が2年ぶり2度目、エキシビジョンの女子リーグは三宿高等看護学院（東京）が勝った。

▼男子▽予選トーナメント1回戦

館山（海・千葉）6（2－2、4－3）5 厚木（海・神奈川）
滝ヶ原（陸・静岡）11（7－5、5－4）9 霞ヶ浦（陸・茨城）
富士学校（陸・静岡）12（4－2、8－1）3 朝霞3施群（陸・埼玉）
東立川（陸・東京）12（5－2、7－1）3 武山（陸・神奈川）
岩手（陸・岩手）13（8－2、5－3）5 防府航空群（陸・山口）

▽同2回戦（決勝トーナメント出場チーム決定戦）

徳島教育航空群（海・徳島）13（6－3、7－5）8 厚木
市ヶ谷（陸・東京）16（6－3、5－8：1－0、1－2：1－1、2－1）15 滝ヶ原
富士学校 14（8－3、6－2）5 神町（陸・山形）
岩手 11（4－6、7－4）10 東立川

▼決勝トーナメント1回戦

下総（海・千葉）20（10－3、10－4）7 木更津航空補給所（海・千葉）
八戸二航群（海・青森）15（7－6、8－6）12 徳島教育航空群
市ヶ谷 14（8－2、6－1）3 春日井（陸・愛知）
鹿屋（海・鹿児島）23（8－10、15－7）17 北海道七師団（陸・北海道）
久里浜（陸・神奈川）14（9－6、5－5）11 木更津1ヘリ団（陸・千葉）
富士学校 15（7－3、8－2）5 古河（陸・茨城）
岩手 13（5－3、8－2）5 宇都宮特12（陸・栃木）
勝田（陸・茨城）29（15－1、14－2）3 練馬（陸・東京）

○……予選から勝ちあがった4チームのうち三つが、大差をつけてシードチームを破り、意気ごみをうかがわせた。敗れた徳島も残り2分12－13と予断を許さず、惜敗だった。

熱がこもったのは鹿屋×第七。第七は後半5分まで西川らの巧技で先行していたが、鹿屋はそのあと沢野、中水流に当りが戻り、逆転した。

▽同準々決勝

下総 23（12－9、11－7）16 八戸二空群
鹿屋 18（10－6、8－7）13 市ヶ谷
久里浜 10（2－3、8－3）6 富士学校
勝田 27（14－5、13－5）10 岩手

○……勝田が楽勝した以外はいずれもせり合い。下総×二空群は一進一退から前半終り間際、下総が3点連取、このリードを巧く活かした。鹿屋×市ヶ谷は、後半10分市ヶ谷が2点差まで詰めたが、試合運びに優る鹿屋はそのあと2点を加えて、巧く立ち直った。久里浜×富士は、富士が後半10分まで先行していたが、久里浜は好ディフェンスから得点機をつかみ、5点連取、逆転勝ちした。

▽同準決勝

下総 11（4－2、7－4）6 鹿屋

○……前半、好機を凡失で逃していた鹿屋は後半10分5－4と逆転したが、そのあと1点を加えたに留ったため、下総の逆転を許し、最後は力負けとなった。

	【鹿屋】	得	【下総】	得
GK	松岡	0	小森	0
GK	下原	0	岩波	0
FP	下村	0	平野	2
FP	山下	1	保坂	1
FP	松元	0	金田	3
FP	中水流	2	穴吹	0
FP	西山	0	横山	2
FP	立野	3	中一	1
FP	大重	0	押川	0
FP	末吉	0	奥原	1
FP	沢野	0	国分	1
FP	水野	0	小沢	0
PT	(0)	6	(1)	11

（審・室川、清水口）

勝田 24（11－3、13－5）8 久里浜

	【久里】	得	【勝田】	得
GK	西郷	0	渡部	0
GK			髙橋	0
FP	西岡	5	宮川	1
FP	藤井	0	小松	1
FP	管野	0	大阪間	4
FP	中村	1	藤枝	4
FP	森山	1	野高	0
FP	高橋	1	池田	5
FP	長内	0	額賀	5
FP			高岡	4
FP			六ツ崎	0
FP			深谷	0
PT	(0)	8	(2)	24

（審・山田、浅木）

○……前半20分9－3と大差をつけた勝田は余裕たっぷり、後半も10分までに額賀の4得点などで久里浜を寄せつけなかった。

▽決勝

下総 18（10－3、8－7）10 勝田

	【勝田】	得	【下総】	得
GK	渡辺	0	小森	0
GK	髙橋	0	岩波	0
FP	額賀	3	平野	6
FP	池田	0	奥原	2
FP	斉藤	2	金田	1
FP	藤枝	3	中一	3
FP	大坂間	1	横山	3
FP	宮川	0	保坂	0
FP	小松	0	木村	1
FP	高岡	0	穴吹	0
FP	六ツ崎	0	国分	2
FP	野高	1	押川	0
PT	(1)	10	(1)	18

（審・藤原、斉藤）

○……勝田は前半17分まで無得点の貧攻、この間に下総は平野、中一、横山らで4点を奪い、そのあとの展開を楽にした。決勝にしては緊迫感に欠けた。

全般的に、第2グループともいうべきチームの実力向上が目立ち上・下位の接近を感じさせたが、反面、トップレベルの伸び悩みが今後の課題として残された。

少年は武山、女子は三宿

▼少年の部1回戦（＝準決勝）

江田島少年術科学校（海・広島）17（10－4、7－4）8 勝田施設生徒隊（陸・茨城）
武山少年工科学校（陸・神奈川）12（5－2、7－4）6 熊谷航空生徒隊（空・埼玉）

▽同決勝

武山少年工科学校 16（7－2、9－4）6 江田島少年術科学校

▼女子（エキシビジョン）リーグ

朝霞ワック（東京）12（5－0、7－2）2 市ヶ谷ワック（東京）
三宿中央病院高等看護学校（東京）13（6－2、7－4）6 朝霞ワック
三宿中央病院高等看護学校 13（4－2、9－1）3 市ヶ谷ワック

【順位】①三宿中央病院高等看護学校②朝霞ワック③市ヶ谷ワック

国内トピックス

【投稿歓迎・500字以内】

★これは珍しい三ケタの背番号

名大ク(愛知)では、OBならびに現役全員に、卒業順の〝永久背番号〟を与えるというユニークな試みをはじめ、この3月の愛知クラブリーグから使用、ゴールデンウイークを利用しての韓国遠征にもたずさえて、国際的なお披露めもした。

すでに100人をこすOBが居るとあって若い先輩や現役は当然三ケタになる。

一ケタの関口会長(NO7)や、NO13太田、NO15服部氏など第一期黄金時代のメンバーは、すでに不惑をこえており「若い数字」にニンマリ。

ユニホームの保管管理が難しいOBクラブでは、たしかに一つのアイデアだ。

(注)日本協会競技規則3の8(注)では全日本大会などでの背番号はNO1からNO15にするように定めている。

★ジュニア五輪宮崎大会に参加

日本体協がオリンピック精神の普及と高揚をはかるため昨年からはじめたオリンピックデー(6月23日)行事の一つ「ジュニア・オリンピック」が、今年は宮崎県で6月18、19の両日17競技にわたって行われ、ハンドボール競技(中学生大会)も宮崎総合運動公園で参加した。

かずかずの催しのなかに、柔道の上村春樹さんをはじめ宮崎県関係者のオリンピック選手による7競技の実技指導や講演が行われたが、ハンドボールは残念ながら該当者がなく、熱戦を演じた中学生選手は、「僕たちがその夢を」と大張り切りだった。

三ケタの背番号をつけて試合する名大ク(5月4日・韓国外語大で)

★PTA活動でハンドボール

名古屋市立御器所小学校(児童数約千)ではPTA活動の一環として毎週日曜日スポーツ教室を行なっており、今年からハンドボールも採用されている。

同校には部活動として3年目のハンドボール部があり(指導 高橋勝義先生)、まだ実力的には市内の他小学校に匹敵するまで至っていないが、4年生以上の部員以外のスポーツ教室参加者が将来入部することによって実力が高められると期待している。

スポーツ教室を担当している同校PTA生活指導委員会の渡辺綾子さんの話によると、部活動参加者を除いてサッカー・バレー・卓球などに3百名あまりが参加しており、その内40名程がハンドボールを選択していて、出席率も80%以上で好評とのことである。ただ指導者がママさんやアルバイト学生であり、毎週1回の指導では技術的に多くを望めないが、ハンドボールに興味を持たせるため試合形式を採用して指導しているとのこと。

私の見た範囲では、すでにジャンプシュートもうまく、マンツーマンの攻防も形になりつつあった楽しみながら練習をしている子らを見て、こういったところでどんどん採用されるようになって始めて本当の普及が出来るような気がした。(田中滋章・編集委員)

★東京で大学同好会リーグ

ハンドボールに限らず学生スポーツの新しい流れと云われて久しいいわゆる〝同好会〟だけのリーグ戦が、5月東京で発足した。

参加しているのは早大同好会、慶大日吉同好会、明大同好会、日大商学部同好会、立大同好会。

読者の皆さんへ

本誌の刊行を担当する日本協会編集委員会は、このほど昭和52・53年度スタッフを別掲のように決定いたしました。

創刊(昭和35年5月)以来、このような全国的ネットワークを設けたことは初めてのことで、154冊を数えた本誌の内容に新風が吹きこむものと思われます。

各委員は、リポーターとして国内ハンドボール界の動向に対し、各地方、各加盟団体などの意向を背景にした記事の執筆や多彩なハンドボール活動の報告を、本誌上に送りこむことになります。ご協力下さい。

なお、各地、各ブロックで開催された地方諸大会の諸記録(スコア)は、これまでどおり、主催または主管協会・連盟から直接本誌あてお送り下さるようお願いいたします。

編集委員名簿

- 編集兼発行人
  荒川　清美(理事長)
- 担当理事
  古庄　昌雄(理事)
- 委員
  石切山稔治(北海道)
  太田　利彦(東　北)
  ○小松原保彦(関　東)
  田中　滋章(東　海)
  望月　　豊(北信越)
  新井　節男(近　畿)
  柳井　文治(中　国)
  橋本　良子(四　国)
  島田　秀四(九　州)
  ○久田　　暁(全日本学連)
  ○岡前　義春(全国高体連)
  ○家村　一敏(全日本実連)
  金子　永治(全日本教職員連)
  ○室川　正治(全日本自衛隊連)
  ○西村　孝雄(日本リーグ)
  深江幸次郎(本部推)
  ○泉　　正明(本部推)
  ○杉山　　茂(本部推)
  ○東門　　巽(本部推)
  ○山本　浩二(本部推)

上記スタッフのうち、○印は6月12日選出された本部委員会メンバー。

HONDA は無公害時代のパイオニア!!

《世界のホンダ》を支えるホンダイズムとは
フェアプレイを土台にした“先駆者の精神”
です。先人の追従でなく、あくまでも自らの手で
よりよい製品をより早く世に出すこと………それは
究極的にはスポーツ精神と同じ“自分との闘い”です。

本田技研工業㈱鈴鹿製作所
三重県鈴鹿市平田町1907 ☎〈0593〉78-1212 〒513

ファイトを更に、かきたてる信頼感。

ハンドベアー デラックス 〈HX〉

●サイズ/22.5~28●カラー/ブルー・ゴールド

●横すべりやロスを解消するための斜線模様の合理設計底。(意匠登録390270号)
●適度の弾性を得る二重スポンジ・クッションの彫りの深い厚底。
●通気性にすぐれ、快適な足沿いと軽快な履き心地のために、疲れの少ないシューズとして好評をいただいております。

Bear
ベアー株式会社

プレス・ルーム <新連載>

小山　敏昭
——共同通信社運動部——

■プレスルーム・オープン

＜聲明書＞ 今般国際送球聯盟ノ日本代表権ヲ日本送球協會ニ對シ本聯盟ヨリ圓滿ニ讓渡セリ

今後送球ニ関スル一切ノ事ハ日本送球協会ニ一任ス

右聲明ス

昭和十三年二月二日

日本陸上競技聯盟

早いもので前記のような声明文が発表され、日本ハンドボール協会（当時は日本送球協会）が創立されて来年で四十年。その間満州事変や第二次世界大戦など激動の時代を生き抜き、そして今や文字通りアジア・ハンドボール界の〃盟主〃として、またオリンピック入賞を目指す世界の〃強豪〃のひとつとしてその地位を築いているだが、これからも日本が金メダルを取るため、国内でもハンドボールをいっそう発展させるため、協会には『数多くのやらねばならないこと』が残っているはずだ。ふだん口うるさい記者連だが、『今後の協会の発展のため』にこれからこの欄をお借りしているいろいろ意見を述べさせていただきたい

■斉藤新会長のバックアップを

一口に創立四十年といっても大変なことで、その間に関係者の労苦は知るよしもない。

ところで最近こんな長い歴史を持つ協会に画期的な出来事があった。というのは日本協会会長に新日本製鉄の斎藤英四郎社長（六五）が就任したというニュースだ。われわれ記者の間でも『ハンドボールは大変な人をかつぎ出してきたな』とささやき合ったものだ。

先代の会長の方々がそうでなかったとはいえないが、新日鉄といえば世界でも有数の大企業。その社長が競技団体の要職に就いたとなれば、当然その競技団体のネームバリューは上がる。これまでも体協加盟の各競技団体がそのネームバリューを利用して何度か会長に就任させたケースがある。ホッケー協会の稲山氏、サッカー協会の平井氏などがその例だ。

だが今回ハンドボール協会が『就任をお願いした』斎藤氏は、今年春に社長に就任したばかりのパリパリの〃現役〃。巨大企業をかかえて毎日毎日、いや毎分毎分が多忙な事と思われる。そんな大人物を『かつぎ出した』のだからまさに恐れいる。

だが協会執行部としては単に〃名前を借りてきただけ〃のつもりだろうが、別の見方をすれば協会執行部の責任は重大だということである。つまり協会として、新会長に対して絶対に恥をかかすようなことは出来ないからである。もちろんその中には日本がオリンピックの代表権を獲得できなかったり、発足二年目の日本リーグが停滞したり、実際に活字になってあらわれてしまうこともあろう。また今の協会にはないと信じるが協会内部の権力争い、協会の財政問題など足を引っぱる要素になることはいうまでもない。

そんなことにならないようにハンドボール界全体をあげて新会長をバックアップし、盛り立てることが大切だ。そして今はまだハンドボール自体とつながりがうすいだろうと思われる会長に、真の『ハンドボールの理解者』というより『熱狂的なファン』になっていただくことが理想なのだが。

■地方試合の多い日本リーグ

第二回日本リーグが六月初旬から始まった。競技の人気と報道についてひとこと。

今回のリーグ戦も地方でのカードが多い。21都道府県31会場という数の多さは他の日本リーグでは類を見ない。ハンドボールの普及を考え、地方のファンを集めるための会場セッティングだと思うがわれわれ取材する方にとっては大変だ。各社とも少ない人数のなかで毎日毎日やりくりをしているため、どうしても取材も制限される。ましてや、『おいしいもの（話題になるもの）』以外にはなかなか取材に出られない。ハンドボールが『おいしくないもの』という意味では決してないが、どうも各社とも足が向かない傾向にある。それに加えて会場が東京や大阪などから離れていて、その上一日に何会場かでゲームがあるとなればとても取材に行くことは無理。記者が取材に行かなければ新聞に載ることもなくなるわけである。

だが注意しなければならないのが『新聞に載らないから人気がない。扱い方が小さいからその競技はたいしたことはない』と思う考え方だ。

むかし、新聞が〃オピニオンリーダー的〃な存在であったころは確かにその傾向はあったと思う。しかし今はむしろ逆で、新聞も『人の子』。多勢の人々が見物におしかけるような競技は新聞も扱わねばならないようになっている。

実際にアメリカンフットボールは十年前までは全く一部の人たちに愛好されるスポーツだったが、今では各新聞社ともかなり大きく扱っている。これは関係者が一生懸命動員、普及に努力した成果だと思われる。

もちろんハンドボールの協会関係者もいろいろ努力していることは認めるし、徐々に人気スポーツの仲間入りし始めていることもわかる。

しかしまだまだこれからも地味な努力が必要であることはいうまでもない。

◇各地春季学生リーグ第2報

北大の連勝つづく

北海道

5月3、4、5の3日間北大体育館に8校が参加して行われた。

4校づつ2組の予選リーグでは予想どおり北大、室蘭工大が強くトップ、教大勢（旭川、釧路）がつづいた。

ベスト4による決勝リーグでは北大が今季も他校をしのぐ攻守をみせて勝ち抜き、49年リーグ創立以来7シーズン連続優勝、44～48年の知事杯争奪大会の5連勝を加えると通算12度目の優勝となった。

2位は5シーズンつづけて室蘭工大、3位の旭川教大もこれで3シーズン連続である。

個人得点は内藤俊（北見工大）が25点でトップ、木村（北見工大）、渡部（北海学園）、佐野（北大）が20点で2位に並んだ。

▽予選リーグA組

北見工大 21—11 小樽商大
北大 17（7—3、10—7）10 釧路教大
釧路教大 19—15 北見工大
北大 31—8 小樽商大
北大 18—12 北見工大
釧路教大 16—12 小樽商大

【順位】①北大②釧路教大③北見工大④小樽商大

▽同B組

旭川教大 12—8 北海学園
室蘭工大 34—7 北海道工大
北海学園 16—8 北海道工大
室蘭工大 15（10—2、5—7）9 旭川教大
室蘭工大 30—8 北海学園
旭川教大 16—11 北海道工大

【順位】①室蘭工大②旭川教大③北海学園④北海道工大

▽5～8位決定リーグ

北海道工大 14—11 北見工大
北海学園 15—12 小樽商大
北海道工大 棄権 小樽商大
北見工大 19—4 北海学園

北見工大×小樽商大、北海学園×北海道工大は予選リーグを適用

【順位】⑤北見工大2勝1敗（得失点差22）⑥北海道工大2勝1敗（2）⑦北海学園2勝1敗（マイナス4）⑧小樽商科大3敗

▽1～4位決定（決勝）リーグ

北大 21（12—4、9—7）11 旭川教大
室蘭工大 12（3—4、9—6）10 釧路教大
旭川教大 23（9—2、14—4）6 釧路教大
北大 17（10—5、7—3）8 室蘭工大

北大×釧路教大、室蘭工大×旭川教大は予選リーグの記録を適用

【順位】①北大3戦全勝②室蘭工大2勝1敗③旭川教大1勝2敗④釧路教大3敗

東北学院、仙台大おさえる

東北

5月21日から3日間東北大中央体育館を主会場に10校が参加、3組の予選リーグのあと、各組勝者で決勝リーグ。予想どおり東北学院と仙台大の優勝争いから東北学院が後半鋭い攻撃をみせて快勝、2シーズン連続優勝を飾った。

▽予選リーグA組

宮城教大 20—13 北里（岩手）
東北大 12—10 宮城教大
岩手大 29—2 北里
東北大 29—8 北里
岩手大 13（分）13 宮城教大
東北大 — 岩手大

▽同B組

東北学院 29—13 福島大
福島大 22—18 東北学院（工）
東北学院 — 東北学院（工）

▽同C組

仙台大 26—14 山形大
東北工大 18—12 山形大
仙台大 — 東北工大

▽7～10位決定リーグ

宮城教大 29—12 東北学院（工）
山形大 26—16 北里
宮城教大 21—16 山形大
東北学院（工）28—24 北里
山形大 — 東北学院（工）

宮城教大×北里は予選リーグの記録を適用。

【順位】⑦宮城教大⑧山形大⑨東北学院工学部⑩北里

▽4～6位決定リーグ

東北工大 19（10—8、9—10）18 福島大
岩手大 13（8—3、5—6）9 東北工大
福島大 20（9—10、11—3）13 岩手大

【順位】④福島大⑤東北工大⑥岩手大

▽1～3位決定（決勝）リーグ

仙台大 21（11—9、10—10）19 東北大
東北学院 23（10—1、13—2）3 東北大
東北学院 23（11—9、12—6）15 仙台大

【順位】①東北学院②仙台大③東北大

金沢大勝つ　北信越学生春季リーグは金沢大が富山大を25—13で破り優勝。

（詳報次号）

"まごころのおつきあい"が私たちのモットーです

あなたの銀行

北國銀行

●本店 金沢市下堤町　●店舗 石川・富山・福井・東京・大阪・名古屋・京都 100か店

中四国は山口大4季ぶり

九州産大は6連勝飾る

中四国

男子に新しく島根大、鳥取大の山陰勢が加わり、これで中四国9県から参加校が揃うという記念すべきシーズンになった。

1、2部は5月21、22の両日山口県立体育館などで、3部と女子は28、29日岡山大球技場で行われた。

1部は昨秋同ようの混戦。山口大が最終戦・修道から大量リードを奪って広島大の2連勝を阻み、4シーズンぶり7度目の優勝となった。

山口大は緒戦で広島大を降しながら広大福山戦を落とし、山口大広島大、広大福山が2勝1敗で並んだ。

このあと広島大×広大福山は激戦の末、広島大が勝ち得失点差10山口大は修道に2点差以上の勝利なら広島大を上廻ることとなり、気力に満ちた攻撃で24—11と快勝した。

2部は広島工大が43年秋、46年秋についで3度目、3部は新加盟の島根大が近大呉を得失点差でかわし1位となった。

女子は山口大が岡山県立短大から1位の座を奪い返した。2シーズンぶり5度目の優勝。山口大の男女優勝は50年春以来のこと。

▽男子1部

山口大 16（9－6 7－4）10 広島大
愛媛大 20（11－3 9－5）8 修道
広大福山 9（5－3 4－3）6 山口大
広島大 18（9－9 9－7）16 愛媛大
広大福山 16（10－6 6－3）9 修道
山口大 11（9－2 2－3）5 愛媛大
広島大 21（9－5 12－3）8 修道
愛媛大 16（8－5 8－8）13 広大福山
広島大 13（9－4 4－8）12 広大福山
山口大 24（13－5 11－6）11 修道

【順位】①山口大3勝1敗（得失点差22）②広島大3勝1敗（10）③広大福山・愛媛大2勝2敗⑤修道5敗

▽同2部

広島工大 24—9 岡山大
松山商大 25—9 山口大(工)
岡山大 20—11 徳島大
広島工大 16（分）16 山口大(工)
松山商大 26—12 徳島大
広島工大 14—12 松山商大
岡山大 11（分）11 山口大(工)
広島工大 24—10 徳島大
松山商大 18—10 岡山大
徳島大 15—14 山口大(工)

【順位】①広島工大3勝1分②松山商大3勝1敗③岡山大1勝1分2敗④山口大工学部2分2敗⑤徳島大1勝3敗

新加盟の島根大勝つ

▽同3部

近大呉 17—13 鳥取大
近大呉 20—15 高知大
島根大 16—14 香川大
島根大 26—19 高知大
香川大 23—9 鳥取大
高知大 19—8 鳥取大
島根大 22—22 鳥取大
島根大 15（分）15 近大呉
近大呉 18—14 香川大
香川大 20（分）20 高知大

【順位】①島根大3勝1分（得失点差20）②近大呉工学部3勝1分（13）③香川大・高知大1勝1分2敗⑤鳥取大4敗

▽女子

山口大 15（5－2 10－1）3 岡山大
山口大 20（11－3 9－6）9 岡山県立短大
岡山県立短大 15（8－0 7－3）3 岡山大

【順位】①山口大②岡山県立短大③岡山大

九州

福岡教大、今年も惜敗

女子は九州女短大勝つ

第15回（女子第2回）全九州学生選手権は5月14、15日の2日間、長崎国際体育館、長崎造船大学体育館に男子18、女子3校が参加して行われた。

男子は例年どおり福岡勢が強味を示したなかで、琉球大（沖縄）がベストフォアへ進出、注目された。

決勝は3年つづけて、九州産大（福岡）×福岡教大の顔合せとなり乱戦の末、九州産大が6年連続（通算6度目）優勝を飾った。6連勝は西南学院の記録（昭39～昭44）にタイ。

2年目の女子は新加盟の九州女子短大（熊本）が前年1位の福岡教大、福岡大をおさえた。

▽男子トーナメント1回戦

長崎大 28（15－7 13－6）13 熊本工大
大分大 19（11－7 8－3）10 福岡工大

▽同2回戦

九州産大（福岡） 31（17－7 14－5）12 熊本大
鹿児島大 17（9－6 8－7）13 福岡大
久留米工大（福岡） 20（3－1 2－0 …… 7－7 8－8）16 長崎大
琉球大（沖縄） 25（16－6 9－6）12 九州工大（福岡）
福岡教大 29（16－1 13－1）2 長崎造船
西南学院（福岡） 23（11－5 12－3）8 宮崎大
大分大 13（6－2 7－7）9 九州東海（熊本）
九州大（福岡） 23（12－7 11－4）11 熊本商大

▽同準々決勝

九州産大 24（13－6 11－3）9 鹿児島大
琉球大 25（15－5 10－9）14 久留米工大
福岡教大 25（15－11 10－6）17 西南学院
九州大 20（20－7 8－7）14 大分大

▽同準決勝

九州産大 19（9－8 10－7）15 琉球大
福岡教大 20（9－8 11－5）13 九州大

▽同3位決定戦

九州大 26（14－7 12－3）10 琉球大

▽同決勝

九州産大 35（19－11 16－12）23 福岡教大

▽女子リーグ

福岡大 6（2－1 4－4）5 福岡教大
九州女子短大 14（4－8 10－3）11 福岡大
九州女子短大 18（8－3 10－4）7 福岡教大

【順位】①九州女子短大②福岡大③福岡教大

関西

京都産大、ついに宿願成る

関西学生春季リーグ戦は、京都産大が部創立10年目で宿願の初優勝を6戦全勝で飾り、幕を閉じた。

4月23日から5月15日まで1部〜3部各7校、4、5部各5校が参加、1部は11連覇を目指す大阪体大が第4戦・大阪経大の粘りにあって引き分けたのに対し、京都産大は近大にやや苦しんだ以外は順調に勝ち進み、最終戦・大阪体大に引き分けでも優勝というアドバンテージ。

両校の優勝争いは7シーズン連続だが、今春は明きらかに波にのった京都産大が優勢。前半25分をすぎて押し気味となり、後半5分から4分間に生駒、北野、藤本らがたたみかけて15—5と早くも大勢を決め、堂々たる初優勝となった。3位は同志社、大阪経大が並び、5位以下は安定感に欠けたが結局、阪大、近大、京都教大の順となった。

2部は関大が群を抜き、早々と優勝(46年秋以来、2度目)、2位以下は4勝をあげるチームがないという混戦だった。

3部は昨秋についで関学が1位(3度目)となり、リーグ戦後の入れ替え戦でも勝って、48年春以来久々の2部入り。

4部は関西外語大が、大阪市立大に得失点差で上廻り初、5部は奈良教大が4度目の1位。

得点王は1部が北野勝也（京都産大、32点）、2部が阿武宏司(甲南、32点)、3部が古谷幸彦（大阪教大、38点）、4部が中垣義則(和歌山大、23点)、5部が奥田政俊（奈良教大、37点）だった。

大経大、大体大と分ける

▽男子1部

京都産大 26（15—2 11—5）7 京都教大

大阪体大 16（8—3 8—8）11 阪大

同志社 16（7—7 9—5）12 近大

大阪経大 18（12—2 6—2）4 阪大

	【阪大】	得	【経大】	得
GK	森	0	木村	0
GK	乾	0	山田	0
FP	小山	1	木下	7
FP	佐藤	0	篠原	1
FP	源間	0	石田	0
FP	酒井	0	大村	1
FP	尾野	0	川本	4
FP	長坂	0	山野	1
FP	藤次	1	田中	3
FP	土肥	0	加戸	0
FP	伊藤	0	覚間	1
FP	秦	2	吉田	0

（審・逢坂 若林）

18（2）PT（0）4

京都産大 21（13—4 8—4）8 同志社

大阪体大 28（14—2 14—4）6 京都教大

大阪大 14（7—4 7—5）9 京都教大

同志社 15（8—6 7—8）14 大阪経大

京都産大 25（17—5 8—9）14 近大

	【同大】	得	【京産】	得
GK	西川	0	松村	0
GK			大西	0
FP	堀田	5	北野	9
FP	高杉	0	生駒	2
FP	中辻	0	木村	1
FP	迫村	0	日比	0
FP	増田	0	藤本	5
FP	後呂	0	松井	3
FP	大杉	1	田中	0
FP	竹本	0	林	0
FP	古川	0	木下	1
FP	栗屋	2		

（審・松尾 谷口）

21（1）PT（1）8

大阪体大 19（13—7 6—7）14 同志社

近大 20（13—5 7—4）9 京都教大

京都産大 16（8—6 8—4）10 大阪経大

同志社 13（7—6 6—3）9 京都教大

大阪大 11（7—5 4—4）9 近大

大阪体大 12（6—7 6—5）12 大阪経大 引き分け

	【経大】	得	【体大】	得
GK	木村	0	青木	0
GK	山田	0	芝野	0
FP	木下	4	稲田	0
FP	篠原	0	多田	0
FP	石田	1	島中	0
FP	大村	1	間河	1
FP	川本	5	前田	2
FP	山野	0	戸井	2
FP	田中	0	志賀	5
FP	加戸	0	川谷	0
FP	覚間	1	井上	2
FP	林	0	山口	0

（審・深田 本田）

12（2）PT（3）12

大阪経大 16（4—1 12—3）4 京都教大

大阪体大 18（8—4 10—5）9 近大

京都産大 31（13—5 18—2）7 阪大

同志社 10（5—3 5—7）10 阪大 引き分け

大阪経大 19（8—3 11—3）6 近大

京都産大 18（9—4 9—5）9 大阪体大

	【体大】	得	【京産】	得
GK	青木	0	松村	0
GK	芝野	0	大西	0
FP	稲田	0	北野	5
FP	多田	0	生駒	6
FP	島中	1	木村	0
FP	門河	2	日比	0
FP	前田	1	藤本	2
FP	藤井	0	松井	5
FP	志賀	3	松山	0
FP	川谷	0	田中	0
FP	井上	2	林	0
FP	山口	0	木下	0

（審・吉田 福井）

18（2）PT（1）9

上位に関大と神戸大

▽同2部

大阪府大 15（7—3 8—4）7 京大

立命館 14（10—8 4—4）12 天理

関大 14（7—6 7—5）11 甲南

関大 19（10—4 9—6）10 天理

神戸大 13（7—6 6—6）12 甲南

大阪府大 14（8—5 6—7）12 立命館

京大 12（8—3 4—5）8 立命館

神戸大 25（8—3 17—5）8 天理

関大 25（13—6 12—4）10 大阪府大

関大 14（9—8 5—4）12 京大

甲南 20（13—7 7—6）13 天理

神戸大 18（7—4 11—6）10 大阪府大

関大 10（3—4 7—5）9 立命館

甲南 11（7—6 4—3）9 大阪府大

神戸大 11（6—6 5—5）11 京大 引き分け

関大 22（13—10 9—2）12 神戸大

	【神大】	得	【関大】	得
GK	川口	0	伊藤	0
GK	高田	0	大羽	0
FP	日代	2	斉藤	5
FP	浅川	0	大中	0
FP	渡辺	1	西井	1
FP	菅野	1	西田	5
FP	高橋	0	岩崎	3
FP	辻	1	大路	0
FP	勝又	1	安村	6
FP	青木	0	辻川	0
FP	尾崎	3	永見	0
FP	平井	3	佐藤	2

（審・福原 川崎）

22（0）PT（0）12

立命館 18（13—7 5—8）15 甲南

天理 18（10—8 8—4）12 京大

京大 9（3—4 6—3）7 甲南

関西学生男子1部

	産	体	同	経	阪	近	教	P	勝	分	負
①京産大	…	○	○	○	○	○	○	12	6	0	0
②大体大	●	…	○	△	○	○	○	11	4	1	1
③同志社	●	●	…	○	△	○	○	7	3	1	2
③大経大	●	△	●	…	○	○	○	7	3	1	2
⑤阪　大	●	●	△	●	…	○	○	5	2	1	3
⑥近　大	●	●	●	●	●	…	○	2	1	0	5
⑦京教大	●	●	●	●	●	●	…	0	0	0	6

【2部順位】①関大6戦全勝②神戸大3勝1分2敗③大阪府大・立命館3勝3敗⑤京大2勝1分3敗⑥甲南2勝4敗⑦天理1勝5敗

立命館 12（6－3 6－5）8 神戸大
大阪府大 14（9－5 5－8）13 天理

関学、教大と分けるも首位

▽同3部
桃山学院 25－9 竜谷
関学 16－11 大阪薬大
大阪教大 24－13 大阪工大
大阪教大 24－13 追手門学院
関学 23－9 竜谷
大阪工大 18－13 桃山学院
関学 20－11 追手門学院
桃山学院 17－13 大阪教大
竜谷 15－12 大阪薬大
追手門学院 19－13 竜谷
大阪教大 20－11 大阪薬大
関学 26－17 大阪工大
関学 18－12 桃山学院
大阪薬大 12（分）12 追手門学院
大阪工大 24－13 竜谷
桃山学院 17－6 追手門学院
大阪教大 27－12 竜谷
大阪工大 18－17 大阪薬大
大阪工大 22－4 追手門学院
桃山学院 23－9 大阪薬大
関学 12（分）12 大阪教大
【順位】①関学5勝1分②大阪教大4勝1分1敗③大阪工大・桃山学院4勝2敗⑤追手門学院1勝1分4敗⑥竜谷1勝5敗⑦大阪薬科大1分5敗

4部は関西外語大

▽同4部
和歌山大 10（分）10 大阪外語大
関西外語大 17－5 大阪歯大
大阪市大 14－12 関西外語大
大阪歯大 22－11 和歌山大
大阪市大 15－9 和歌山大
関西外語大 20－15 大阪外語大
大阪歯大 16－15 大阪外語大
大阪市大 23－7 大阪歯大
大阪市大 16－10 大阪外語大
和歌山大 14－9 関西外語大
【順位】①関西外語大3勝1敗②大阪市大3勝1敗③和歌山大2勝1分1敗④大阪歯大1勝3敗⑤大阪外語大1分3敗
▽同5部
奈良教大 23－16 京都外語大
京都工繊大 22－12 姫路工大
奈良教大 16－13 神戸商船
奈良教大 17－16 京都工繊大
神戸商般 15－6 姫路工大
姫路工大 18－17 京都外語大
神戸商船 20－12 京都工繊大
神戸商船 20－12 京都外語大
奈良教大 16－13 姫路工大
京都外語大 20－17 京都工繊大
【順位】①奈良教大4戦全勝②神戸商船3勝1敗③京都工芸繊維大・京都外語大・姫路工大1勝3敗

果たせた〝打倒・大阪体大〟

□……京産大有利という前評判が圧倒的に高かったが小西博喜コーチ（京都教大OB）は「相手には優勝経験がある。油断はできません」と、最後の最後まで手綱を締めっぱなしだった。

ムリもない。この6シーズン何度か、今季と同ように有力と云われながら、最終日の大阪体大戦でつまづいた苦い思い出がある。

特に49年春、51年春は得失点差の争いで敗れ、文字どおり涙をのんだ。

□……こうなると〝打倒・大阪体大〟は、執念をとおりこして、怨念のようなもの。

勝てば文句ない優勝と判っていながら北野勝也主将は、試合前「大差をつけて勝たなければ意味がない」とチームメートにはっぱをかけている。

そして成し遂げた〝完勝〟だ。

「嬉しい以外に言葉はない」（生駒靖夫選手）。

□……加盟して10年。この日がちょうど100試合目。2部に昇格した頃は、「楽しむ程度の活動」（小西コーチ）だったが、しだいに最上位を狙う意欲が高まり、現在の4年生が入学したあたりから、トップクラスに定着した。

「秋も勝って、できれば関西勢で最初のインカレ制覇を……」というのが、垣内洋介監督や選手の次の目標だが、それもあながち夢ではなさそう。

関東各校は早くも京産大の情報集めをしているし、学生時代に手合せした大同特殊鋼の蒲生選手（今春中大を卒業）も「ことしの京産大はいける」という。

□……勝利の美酒に酔うなかで、気がかりなのは、部員が14人と少く、しかも大半が4年生。

本来なら一気に〝京産大時代〟を築きあげたいところだが、「ヘタをすると二年後にはメンバーを組めなくなる」（小西コーチ）という部員難だ。

「優勝したことで、学校側が来年、新人の入学を少し考えてくれるといいのですが……」（大原真造先輩・大同特殊鋼選手）と、OB連中は、このところ、優勝の歓びよりも、来年以降の陣容に深刻な表情を寄せあっている。（S）

京都産大全成績

	〔春季〕	〔秋季〕
43年	3部⑩	4部④
44年	4部④	4部①(昇格)
45年	3部①(昇格)	2部③
46年	2部①(昇格)	③3勝2敗
47年	④2勝3敗	③4勝2敗
48年	③4勝2敗	③4勝2敗
49年	②5勝1分	②4勝1分1敗
50年	②4勝2敗	②5勝1敗
51年	②5勝1分	②5勝1敗
52年	①6勝(優勝)	

1部通算70戦51勝3分16敗
2部以下通算30戦17勝1分12敗

近代化を誇る
湧永薬品広島工場
湧永薬品
株式会社

本　社／大阪市福島区上福島南3－142　TEL. 06－458－8901～5
東京支店／東京都港区三田2－7－16　TEL. 03－451－6996・7891
支店／横浜・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌
工場／広島・和歌山

武庫川女、大体大振り切る

関西（女子）

昨秋の順位をもとに、初の2部制をしき、2部に奈良女大が新加盟、全11校となった。

1部は予想どおり武庫川女と大阪体大が今シーズンも秀れた攻守で勝ち進み、最終戦で対決。

武庫川女は立ちあがりこそ大阪体大にリードを許したが、前半なかばから今井、榎崎、福島らで着々と加点、後半10分14－6としてそのあとの大阪体大の粘りをはねのけた。4シーズン連続6度目の優勝、50年秋の関大戦以後、関西学生リーグで20連勝となった。

2部は大阪薬大が順当勝ちした

▽1部

大阪体大　13（9－3、4－4）7　成　蹊
武庫川女　14（8－2、6－5）7　大阪教大
成　　蹊　17（11－2、6－7）9　京都教大
大阪体大　18（8－3、10－0）3　大阪教大
成　　蹊　9（2－2、7－2）4　大阪教大
武庫川女　28（17－2、11－4）6　京都教大
武庫川女　19（10－2、9－4）6　成　蹊
大阪体大　28（15－3、13－4）7　京都教大
大阪教大　9（6－3、3－3）6　京都教大

得	【成蹊】		【大教】	得
0	小寺	GK	石若	0
0	中村	FP	森内	1
5	西山		萩原	0
0	津田		福島	0
0	大矢		住野	0
1	干原		下村	0
0	是		酒井	3
0	高木		三宏	0
0	村上		山本	0
3	伊藤		松尾	0
0	小島		中村	0
0	喜多			
9	(1)	PT	(0)	4

（審・佐谷、中）

得	【武庫】		【京教】	得
0	岡本	GK	中村	0
0	宮崎	FP	秦	0
1	佐野		清水	1
2	桝井		片岡	3
6	榎崎		竹内	2
12	今井		深尾	0
0	木下		野田	0
3	赤松		竹内	0
0	鐘ヶ江		川合	0
3	福島			
1	清水			
0	坂本			
28	(5)	PT	(0)	6

（審・吉田、保田）

武庫川女　14（5－6、9－5）11　大阪体大

得	【武庫】		【体大】	得
0	岡本	GK	柴田	0
0	宮崎	FP	松本	0
1	佐野		中津	1
3	福島		大竹	3
1	恒川		加藤	2
0	桝井		野村	0
2	榎崎		藤井	0
3	今井		浅井	2
3	木下		岡田	0
0	坂本		田辺	2
0	清水		福田	1
1	佐々木			
14	(2)	PT	(3)	11

（審・藤本、本田）

【順位】①武庫川女4戦全勝②大阪体大3勝1敗③成蹊女短大2勝2敗④大阪教大1勝3敗⑤京都教大4敗

▽2部

奈良教大　13（8－4、5－1）5　関　　大
滋 賀 大　11（6－2、5－3）5　奈良女大
大阪薬大　14（5－2、9－3）5　和歌山大
滋 賀 大　12（6－3、6－0）3　和歌山大
関　　大　12（3－5、9－5）10　奈良女大
大阪薬大　11（7－1、4－2）3　奈良教大
奈良教大　8（5－3、3－4）7　和歌山大
滋 賀 大　7（5－1、2－1）2　関　　大
大阪薬大　9（4－2、5－0）2　奈良女大
滋 賀 大　6（2－3、4－3）6　奈良教大（引き分け）
奈良女大　6（3－4、3－1）5　和歌山大
大阪薬大　7（6－2、1－2）4　関　　大
奈良女大　8（3－4、5－1）5　奈良教大
和歌山大　6（4－2、2－1）3　関　　大
大阪薬大　7（4－2、3－1）3　滋 賀 大

【順位】①大阪薬大5戦全勝②滋賀大4勝1敗③奈良教大2勝1分2敗④奈良女大2勝3敗⑤和歌山大・関大1勝4敗

京都教▼1・2部入れ替え戦
大残留　（5月25日・大阪）

京都教大（1部⑤）12（7－3、5－0）3　大阪薬大（2部①）

関大1部、関学2部へ浮上

関西入れ替え戦

5月21、22日追手門学院と大阪府大体育館で行われた。

1～2部で関大が48年春以来9シーズンぶりに1部カムバックを決め、低迷をつづけていた関学も2部へ9シーズンぶりで戻ることになった。

名門関・関の浮上は、関西学生界に明るい話題をまいた。

39年春転落以来、12年ぶりで1部復帰への足がかりをつかんだ神戸大は近大に惜しくもはね返された。

関大に敗れた京都教大は2シーズンで1部を降りた。

このほか、かつての1部校のうち甲南が部へ大阪歯大が5部へ落ちた。女子は別掲のとおり京都教大が大阪薬科大の挑戦を退けた。

▽男子4～5部

神戸商船（5部②）19－14　大阪歯大（4部④）
大阪外語大（4部⑨）13－11　奈良教大（5部①）

▽同3～4部

関西外語大（4部①）12－11　大阪薬科大（3部⑦）
大阪市大（4部②）25－13　竜谷（3部⑥）

▽同2～3部

関学（3部①）16（10－8、6－7）15　天理（2部⑦）
大阪教大（3部②）17（8－5、9－8）13　甲南（2部⑥）

▽同1～2部

関　大（2部①）15（9－4、6－3）7 京都教大（1部⑦）

近　大（1部⑥）23（8－4、15－7）11 神戸大（2部②）

芝浦工大、ついに3部

日体、東海破り一息

関東入れ替え戦

5月28日駒沢屋内球技場で行われた。

注目の1～2部は、日体が40年の歴史で初めて転落の危機にさらされ、立ちあがり東海に0－3と先行を許したが、そのあとどうにか個人技をまとめて勝ち残った。

明治×国士館は、300人をこす応援学生に力づけられた国士館が、明治の反撃をかわして初の1部入りを決めた。明治の転落は46年秋以来。なお、2～3部で名門・芝浦工大が残り4分2点のリードを保てず、ついに3部落ちとなった。

▽4～5部

一　橋（5部②）23－16 日本工大（4部⑦）

東京経大（5部①）19－16 武　蔵（4部⑧）

▽3～4部

駒　沢（3部⑦）10－8 東　洋（4部②）

東京工大（4部①）27－6 上　智（3部⑧）

▽2～3部

青山学院（2部⑦）15（10－4、5－6）10 横浜商大（3部②）

防衛大（3部①）18（7－11、11－6）17 芝浦工大（2部⑧）

▽1～3部

日　体（1部⑦）17（8－4、9－6）10 東　海（2部②）

国士館（2部①）17（8－3、9－9）12 明　治（1部⑧）

〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃久々の一部校誕生〃〃〃〃〃〃〃〃〃〃

国士館

□……数え切れぬほどの栄光に彩られた芝浦工大が、ついに2部の座さえ持ちこたえられずに終ったあと、これまた「優勝」という言葉はあっても、「入れ替え戦」にはまったく無縁だった日体が東海に悪戦苦闘。どうにか〝名門の座〟を守ったものの、ホッとした表情に笑みさえ浮かぶ選手たちとは対照的に、OBの顔は苦虫をかみつぶしたよう。

『これを機に新しい気持ちで出直せれば……。戦力はけして上位にヒケをとらない』と秋に汚名挽回をかける一宮昌平コーチは声こそ元気だったが、その顔は疲れ切っていた。

□……一方、40年春リーグ加盟以来、悲願の1部入りを果たした国士館は、勝利と同時に体育各部の部員による〝大応援団〟が五色のテープを投げこみ、たいへんな騒ぎ。

42年春から2部にあること実に21シーズン（143戦88勝6分49敗＝本誌調べ）、49年秋、50年春について3度目の挑戦でかち得た勝利にいつまでも酔いつづけこの日いちばんの華やかなシーンをくりひろげた。新1部校の誕生は48年春の東京学芸大以来。史上16校目。

早稲田が貫録の15度目

～3大学定期戦～

第17回早慶明3大学定期戦は6月4日東京・早大記念会堂で行われ、春の関東学生優勝校早稲田が貫録を示して快勝、8年連続15度目の優勝を飾った。

この定期戦における各カードの通算成績は早×明が早の13勝2分2敗、慶×明が慶の10勝2分5敗早×慶が早の14勝1分2敗となった。

早稲田 31（15－7、16－6）13 明　治

慶　応 19（12－7、7－8）15 明　治

早稲田 22（9－8、13－9）17 慶　応

【順位】①早稲田②慶応③明治

◆第24回名阪戦（名古屋大対大阪大定期戦・6月5日、大同体育館）

▽新人戦

阪　大 23－12 名　大

▽OB戦

阪　大 30－21 名　大

▽現役戦

阪　大 13（5－8、8－3）11 名　大

阪大は7連勝、通算12勝11敗1分

関東は日体、東海は名城

各地の学生新人戦

第15回関東学生新人戦は6月12日駒沢で男女決勝戦を行ない、男子は日体が法政を20－17で破り2連勝4度目の優勝。ベストエイトはこの両校のほか早稲田、日大、筑波、中央、国士館、農大だった

女子リーグは東女体大が優勝。

第8回東海学生新人戦は6月4、5の両日愛知教大球技場で行なわれ、男子は名城が中京Aを16－10で降し4連勝6度目の優勝。ベストエイトは二校のほか中京B、C名古屋学院、愛知学芸大、名大、愛知教大。

女子は中京女が中京Aに14－8で快勝、2年ぶり5度目の優勝を遂げた。

女子またも韓国優勢　男子は3勝1敗

【速報】第11回（女子第6回）日韓学生交流は、6月17日から25日まで全日本学生選抜（藤松博団長、藤原侑監督ら役員8、選手27）が遠征して男女各4試合が行われ、男子は3勝1敗、女子は1分3敗（うち親善試合2敗）の成績だった

～詳報次号～

◇男子

全日本学生 22（15－4、7－7）11 釜山大

全日本学生 26（11－13、15－11）24 忠南大

円光大 20（11－9、9－10）19 全日本学生

全日本学生 23（16－12、7－6）18 成均館大

◇女子～対抗戦～

韓星女大 21（11－5、10－5）10 全日本学生

全日本学生 14（7－6、7－8）14 忠洲工専

引き分け

◇同～親善試合～

韓国造幣公社 21（11－4、10－9）13 全日本学生

仁川市庁 15（8－4、7－9）13 全日本学生

藤原監督の話　男子はまずまずの成績といえる。

女子は造幣公社などによい選手が揃っており、日本のナショナルも若返ったので、これまでのように〝圧倒的優位〟とはいえなくなった。

福岡大が初優勝

西部学生

第27回西部学生選手権は、6月18、19の両日山口県立体育館などで中四国学連と九州学連の男子19女子5大学が参加して行われ、男子は九州春季2位の福岡大が中四国1位の山口大を16－15で破り、初優勝した。3位は九州大、4位は長崎大、九州春季1位の九州産大は1回戦で山口大に敗れた。

女子（第5回）も、新進・九州女大が山口大を15－12で降し初優勝

（詳報次号）

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

山梨社会人リーグ
韮崎クラブ
代表　横森　貞
事務所　韮崎高校内

山梨社会人リーグ
大月スワロー
代表　西室　覚

株式会社　大森組
代表取締役　大森　七五三造
専務取締役　大森篤範
北海道上磯郡木古内町本町83

共同舗装工業株式会社
株式会社　斉藤組
共同生コンクリート株式会社
専務取締役　斎藤八郎
北海道上磯郡上磯町字七重浜192

グリーンコミュニケーション
エレクトロニクスで未来を招く
日本電気株式会社山梨工場
山梨県山梨市小原西843
TEL 05532―2―3111(代)

大垣市ハンドボール協会長
伊部良男
岐阜県大垣市林町六丁目八〇番地
オーミケンシ株式会社大垣工場

京都府ハンドボール協会
会長　木下　弥三郎

東レナイロンカーペット　製造元
東洋カーペット株式会社
本社・工場　金沢市南森本町768
TEL (0762)58―0888(代)

田村紡績株式会社

各種精密プレス加工，金型，省力機器，設計製作
清国産業株式会社
代表取締役　清水国善
本社・工場　栃木県足利市小俣町西大門2690―1
TEL 0284 (62) 0513 (大代)

◇岐阜県実業団ハンドボール連盟◇

役職	氏名	住所	勤務先
会長	清水晴次	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業取締役
副会長	柳瀬準一	岐阜市茜部中島	二和家具工業取締役
理事長	森島清明	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業
理事	隅田泰生	不破郡垂井町宮代	帝人製機岐阜工場
	新村茂	岐阜市茜部中島	二和家具工業本店
	泉文俊	安八郡安八町大森	三洋電機岐阜工場
	安武英巳	大垣市久徳町 239	太平洋工業
	浅野敏夫	大垣市中曽根町	日本耐酸壜工業
	高橋省吾	大垣市神田町	揖斐川電工本社

インター・ハイ目指して（上）

～全日本高校選手権各県予選記録～

◇6月15日まで報告分◇

東北

◇宮城県

▼男子1回戦

佐沼 35—6 仙台南
古川工 9—8 塩釜
仙台向山 30—6 上沼農
祗園寺 16—12 鶯沢工
仙台一 19—16 宮城水産
古川商 16—6 仙台商
仙台三 22—6 電子

▽同2回戦

仙台育英 16—6 佐沼
古川工 15—3 榴ヶ岡
仙台二 12—7 仙台一
仙台三 14—6 一迫商
築館 9—8 宮上
仙台向山 5—4 仙台
古川商 15（分）15 東北
PTCで古川商の勝ち
古川 31—2 祗園寺

▽同準々決勝

仙台育英 11—5 築館
仙台二 24—9 古川商
古川工 15—9 仙台向山
古川 9—6 仙台三

▽同準決勝

古川 8—6 仙台二
仙台育英 10—7 古川工

▽同決勝

仙台育英 16—9 古川
仙台育英は6年連続6度目の代表

▼女子1回戦（3試合）

宮城二女 10—1 宮城三女
古川女 6—5 仙台女商
宮城一女 4—2 一迫商

▽同準々決勝

涌谷 21—2 宮城二女
塩釜女 28—1 祗園寺
古川女 10—3 飯野川
古川商 16—1 宮城一女

▽同準決勝

涌谷 13—2 古川女
古川商 11—9 塩釜女

▽同決勝

涌谷 14—1 古川商
涌谷は8年連続25度目の代表

◇岩手県

▼男子1回戦（1試合）

盛岡三 12—10 久慈

▽同2回戦

盛岡商 17—5 盛岡三
生活学園 13—9 一戸
盛岡一 20—8 釜石南
一関工 15—7 富士短花巻
盛岡四 16—11 水沢
花巻北 23—4 福岡工
岩手 9—6 福岡
花巻農 31—4 宮古

▽同準々決勝

盛岡商 25—4 生活学園
盛岡一 23—7 一関工
花巻北 22—5 盛岡四
花巻農 19—3 岩手

▽同準決勝

盛岡一 8—6 盛岡商
花巻北 4—2 花巻農

▽同決勝

盛岡一 8—7 花巻北
盛岡一は2年連続20度目の代表

▼女子1回戦

水沢 8—3 福岡
花巻北 11—1 宮古
黒沢尻南 6—4 釜石商
平舘 12—4 一戸
盛岡二 17—1 盛岡三
釜石南 7—6 大原商
岩手女 5—4 花巻農

▽同準々決勝

花巻南 14—2 水沢
黒沢尻南 4—2 花巻北
盛岡二 8—4 平舘
釜石南 9（延）5 岩手女

▽同準決勝

花巻南 12—2 黒沢尻南
盛岡二 12—4 釜石南

▽同決勝

花巻南 13—2 盛岡二
花巻南は4年ぶり11度目の代表

北信越

◇新潟県

▼男子1回戦（3試合）

中条工 18—4 高田北辰
中越 23—12 新潟明訓
柏崎 15—7 巻

▽同準決勝

柏崎工 16—8 中条工
柏崎 10—6 中越

▽同3位決定戦

中越 22—7 中条工

▽同決勝

柏崎工 7—3 柏崎
柏崎工は5年連続11度目の代表

▼女子1回戦（2試合）

新潟江南 17—0 中越
新潟明訓 5—4 巻

▽同3位決定戦

巻 15—1 中越

▽同決勝

新潟江南 13—4 新潟明訓
新潟江南は3年連続3度目の代表

◇富山県

▼男子1回戦（3試合）

高岡 13—10 大沢野工
富山 21—8 富山南
富山商 14（延）13 富山中

▽同2回戦

氷見 33—9 高岡
富山東 23—8 新湊
八尾 13—4 雄山
高岡商 28—5 富山
高岡日大 9—8 伏木
高岡南 10—6 富山工

今年度推せん出場校

☆男子前年度優勝校 下関中央工（山口）、2年連続12度目の出場。

☆女子前年度優勝校 大分東（大分）、6年連続11度目の出場。

二上 20—5 滑川
小杉 11—9 富山商

▽同静々決勝

氷見 28—3 富山東
高岡商 23—9 八尾
高岡日大 26—0 高岡南
二上 17—11 小杉

▽同準決勝

氷見 19—6 高岡商
高岡日大 7—6 二上

▽同決勝

氷見 21—4 高岡日大
氷見は4年連続16度目の代表

▼女子1回戦（3試合）

高岡女 23—5 清光
富山女 23—0 高岡
富山北 5—1 雄山

▽同準々決勝

有磯 9—4 高岡女
富山女短 7—5 高岡一
富山女 7（延）6 高岡商
小杉 15—2 富山北

▽同準決勝

有磯 29—2 富山女短
小杉 13—3 富山女

▽同決勝

有磯 6—5 小杉
有磯は2年連続12度目の代表

東海

◇三重県

▼男子予選トーナメントA組

四日市工 31―8 四日市中央工
桑名工 不戦勝 海星
四日市工 35―2 桑名工

▽同B組

桑名西 25―4 亀山
津 16―11 高田
桑名西 25―10 津

▽同C組

尾鷲 29―10 四日市
津工 30―17 桑名
尾鷲 26―8 津工

▽同決勝リーグ

四日市工 19―12 尾鷲
桑名西 11―5 尾鷲
四日市工 25―7 桑名西

四日市工は6年連続19度目の代表

▼女子予選トーナメントA組

尾鷲 18―4 上野商
尾鷲 8(延)7 暁

▽同B組

亀山 24―1 上野
津女子 12―1 亀山

▽同C組

四日市商 12―1 菰野
四日市 19―4 桑名
四日市 9―6 四日市商

▽同決勝リーグ

尾鷲 8―3 四日市
津女子 13―3 四日市
津女子 7―0 尾鷲

津女子は2年連続11度目の優勝

◇静岡県

▼男子1回戦

静清工 不戦勝 沼津東
清水東 19―9 吉原商
御殿場 10―8 春野
三島南 29―11 天竜林業
静岡工 13―7 修善寺工

▽同2回戦

静岡農 33―2 静清工
静岡東 10―8 富士
御殿場南 10―8 清水東
二俣 20―8 御殿場
清水商 25―8 三島南
星陵 19―8 浜村南
気賀 17―4 沼津工
土肥 28―9 静岡工

▽同準々決勝

静岡農 17―4 静岡東
二俣 19―3 御殿場南
清水商 19―5 星陵
土肥 21―8 気賀

▽同準決勝

静岡農 15―9 二俣
清水商 10―6 土肥

▽同3位決定戦

二俣 16―10 土肥

▽同決勝

静岡農 15―10 清水商

静岡農は3年ぶり3度目の代表

▼女子1回戦

土肥 6―4 気賀
清水女子 6―1 加藤学園
二俣 13―1 御殿場
藤枝西 5―4 富士宮東
浜松南 5―2 吉原

▽同準々決勝

清水西 9―5 土肥
清水商 16―1 清水女子
二俣 11―1 藤枝西
静岡城北 11―4 浜松南

▽同準決勝

清水商 4―1 清水西
二俣 7―3 静岡城北

▽同3位決定戦

清水西 8―3 静岡城北

▽同決勝

清水商 8―3 二俣

清水商は5年連続6度目の代表

◇愛知県（県中央大会）

▼男子1回戦

名南工 23―9 名学院
岡崎城西 16―6 小牧工
中京 17―13 市工芸
愛知 24―7 豊橋南
豊橋工 13―11 名城大付
三好 14―11 名古屋市工
緑 14―11 一宮西
桜台 15―8 安城

▽同準々決勝

名南工 11―8 岡崎城西
三好 23―15 豊橋工
愛知 16―15 中京
桜台 16―15 緑

▽同準決勝

名南工 14―12 愛知
三好 16―12 桜台

▽同決勝

名南工 20―15 三好

名南工は3年ぶり3度目の代表

▼女子1回戦

岩津 14―4 南陽
佐屋 17―3 瑞陵
西陵 8―5 桜台
西尾 15―4 中村
名短大付 9―7 一宮
東海女子 9―4 豊橋商
緑ケ丘商 10(延)9 豊橋東
市邨 8―2 岡崎

▽同準々決勝

岩津 15―5 西陵
佐屋 9―6 西尾
名短大付 12―6 緑ケ丘商
市邨 16―2 東海女子

▽同準決勝

岩津 10―7 名短大付
市邨 10―3 佐屋

▽同決勝

岩津 11―10 市邨

岩津は初出場

◇岐阜県

▼男子予選トーナメント1回戦

高山工 14―12 多治見北
益田 20―3 中濃西
大垣農 21―9 中津
市岐阜商 12―10 岐阜東
大垣東 27―13 土岐商
岐阜高専 17(分)17 岐山
PTC3―1で岐阜高専の勝ち
岐阜西工 13―9 大垣北
岐阜工 16―13 各務原
岐阜南 10(分)10 大垣
PTC3―2で岐阜南の勝ち

▽同2回戦

加納 17―6 高山工
益田 13―11 大垣農
大垣南 10―6 市岐阜商
県岐阜商 21―5 大垣東
大垣工 27―7 岐阜高専
不破 15―7 岐阜南
岐阜西工 18―13 羽島
岐阜工 15―11 岐阜北

▽同3回戦

加納 18―5 益田
県岐阜商 25―6 大垣南
大垣工 20―9 不破
岐阜西工 9―8 岐阜工

▽同決勝リーグ

加納 12―9 県岐阜商
大垣工 23―9 岐阜西工
加納 11(分)11 大垣工
県岐阜商 14―7 岐阜西工
加納 22―4 岐阜西工
大垣工 9―8 県岐阜商

【順位】①加納②大垣工③県岐阜商④岐阜西工。加納は5年ぶり13度目の代表。

▼女子予選トーナメント1回戦

羽島 10―9 中濃西
益田 12―4 中津
大垣南 9―7 海津
本巣 12―3 大垣

▽同2回戦

富田女 13―3 羽島
岐山 19―2 大垣北
岐阜北 7―2 不破
大垣農 7―3 益田
加納 10―0 大垣南
高山 13―1 多治見女
各務原 6―3 養老女
県岐阜商 6―1 本巣

▽同3回戦
富田女 12－1 岐山
大垣農 14－1 岐阜北
加納 13－3 高山
県岐阜商 13－2 各務原
▽同決勝リーグ
富田女 12－3 大垣農
県岐阜商 11－3 加納
富田女 8－3 加納
県岐阜商 13－4 大垣農
富田女 7－3 県岐阜商
加納 11－4 大垣農
【順位】①富田女②県岐阜商③加納④大垣農。富田女は初出場。

近畿

◇奈良県
▼男子1回戦
天理 棄権 育英
畝傍 11－10 橿原
郡山 19－4 広陵
生駒 12－2 正強
一条 26－5 十津川
奈良工 20－7 榛原
奈良 23－5 東大寺
▽同準々決勝
添上 24－7 天理
郡山 19－4 畝傍
生駒 9（分）9 一条
PTC3－2で生駒の勝ち
奈良 14－8 奈良工
▽同準決勝
添上 11－10 郡山
生駒 14（延）12 奈良
▽同決勝
添上 8－7 生駒
添上は3年ぶり16度目の代表
▼女子1回戦（3試合）
添上 18－1 帝塚山
生駒 13－6 十津川
一条 26－1 桜井園
▽同準決勝
添上 8－6 生駒
郡山 7－5 一条
▽同決勝
郡山 3－2 添上
郡山は14年ぶり4度目の代表。

◇和歌山県
▼男子1回戦
粉河 15－13 吉備
耐久 13－12 箕島
市和歌山商 32－12 笠田
新宮 18－4 東
桐蔭 15－11 海南
▽同準々決勝
県和歌山商 23－8 粉河
市和歌山商 26－12 耐久
那賀 9－5 新宮
御坊商工 25－5 桐蔭
▽同準決勝
県和歌山商 23－6 市和歌山商
御坊商工 20－5 那賀
▽同決勝
御坊商工 8－7 県和歌山商
御坊商工は3年ぶり3度目の代表
▼女子1回戦（2試合）
耐久 23－4 吉備
箕島 12－2 貴和
▽同準々決勝
新宮 18－1 那賀
県和歌山商 14－7 笠田
御坊商工 26－1 耐久
粉河 13－2 箕島
▽同準決勝
御坊商工 8－4 新宮
県和歌山商 10－3 粉河
▽同3位決定戦
粉河 6－5 新宮
▽同決勝
御坊商工 6－4 県和歌山商
御坊商工は初出場

◇兵庫県
▼男子予選トーナメント1回戦
明石 8－6 宝塚
報徳 35－10 市神戸工
西宮東 25－9 育英
柏原 13－7 須磨
佐用 9－8 赤塚山
西宮南 23－4 小野工
県工 17－15 甲陽
神戸北 14－7 有馬
県伊丹 35－1 村野工
明石商 37－2 鳴尾
▽同2回戦
滝川 20－13 尼崎工
明石北 11－4 市神港
明石商 17－9 東灘
市神戸商 20－14 神戸北
西宮東 19－8 川西緑
明石南 6（延）5 西宮南
御影工 20－18 武庫工
東播工 24－7 私神港
明石 17－7 北須磨
尼崎小田 13－11 報徳
兵庫 23－10 伊丹北
西宮北 11－10 舞子
県神戸商 18－7 三田
佐用 19－7 市西宮
県伊丹 15－14 鈴蘭台
県工 11－10 柏原
▽同3回戦
明石 16－10 滝川
明石南 14－9 尼崎小田
兵庫 12－10 県神戸商
御影工 23－9 佐用
明石北 10（延）9 県伊丹
西宮北 14－7 市神戸商
東播工 9－8 西宮東
明石商 12－9 県工
▽同4回戦
明石 14－5 御影工
西宮北 7（分）7 明石南
PTC3－2で西宮北の勝ち
明石北 12－10 東播工
兵庫 12－10 明石商
▽同決勝リーグ
明石 14－12 西宮北
兵庫 21－9 明石北
兵庫 15（分）15 明石
明石北 12－9 西宮北
明石北 13－7 明石
西宮北 11－10 兵庫
【順位】①明石北②兵庫③明石④西宮北。明石北は初出場。
▼女子予選トーナメント1回戦
尼崎小田 16－5 市神港
市神戸商 7－3 市西宮
鈴蘭台 10－2 県尼崎
武庫川 20－3 飾磨
西宮東 5－4 親和

大同特殊鋼
取締役社長 武田喜三
本社：名古屋市中区錦一丁目11－18（興銀ビル）
TEL名古屋（052）201-5111（大代表）〒460
支社：東京　支店：大阪

佐用 8—2 鳴尾
明石商 11—10 県伊丹
園田 9—6 赤塚山
明石北 9—2 川明峰
甲子園 13—4 柏原
須磨 8—4 近大豊岡
明石南 7—6 西宮南

▽同2回戦

夙川 23—2 尼崎小田
西宮東 14—3 佐用
明石商 9—0 園田
明石 14—3 市神戸商
鈴蘭台 9—7 県神戸商
甲子園 6—1 明石北
明石南 8—4 須磨
北条 15—6 武庫川

▽同3回戦

夙川 17—2 西宮東
明石 5—4 明石商
鈴蘭台 7—5 甲子園
北条 6—4 明石南

▽同決勝リーグ

夙川 12—5 明石
北条 6—5 鈴蘭台
夙川 11—4 北条
鈴蘭台 4—3 明石
夙川 8—3 鈴蘭台
北条 9—8 明石

【順位】①夙川②北条③鈴蘭台④明石。夙川は3年連続7度目の代表

中国

◇岡山県

▼男子1回戦

倉敷工 21—5 落合
津山工 27—1 操山
矢掛 18—14 総社
邑久 13—3 芳泉
水島工 18—5 高梁工
天城 11—9 大安寺
岡山工 19—9 玉野
倉敷商 9—7 児島

▽同準々決勝

倉敷工 18—5 津山工
邑久 18—9 矢掛
水島工 12—10 天城
倉敷商 12—6 岡山工

▽同準決勝

倉敷工 20—8 邑久
倉敷商 16—8 水島工

▽同決勝

倉敷工 19—9 倉敷商
倉敷工は2年連続3度目の代表

▼女子1回戦（3試合）

落合 12—9 天城
西大寺 16—1 倉敷商
総社 9—7 真備

▽同準決勝

津山商 7—4 落合
西大寺 14—5 総社

▽同決勝

津山商 7（延）6 西大寺
津山商は2年連続2度目の代表

◇広島県

▼男子1回戦（2試合）

三津田 13—10 尾道
呉工 13—10 誠之館

▽同2回戦

修道 28—2 三津田
江田島 35—1 広大附属
三次工 9—5 賀茂
宮原 14—9 広
呉港 21—5 三原工
安芸 17—3 瀬戸内
城北 18—11 三次
山陽 16—5 呉工

▽同準々決勝

修道 22—6 江田島
宮原 23—7 三次工
呉港 15—7 安芸
山陽 14—9 城北

▽同準決勝

修道 9—7 宮原
山陽 14—4 呉港

▽同決勝

修道 16—8 山陽
修道は4年連続17度目の代表。

▼女子1回戦（3試合）

宮原 10—6 三次
呉商 8—3 賀茂
豊栄 10—4 尾道商

▽同準々決勝

山陽女 19—1 宮原
比治山 17—5 戸手
進徳 21—4 呉商
第一女商 4—1 豊栄

▽同準決勝

山陽女 25—0 比治山
第一女商 8—4 進徳

▽同決勝

山陽女 12—1 第一女商
山陽女は3年連続15度目の代表

四国

◇愛媛県

▼男子1回戦（1試合）

松山南 15（分）15 新居浜商
PTC3—1で松山南の勝ち

▽同2回戦

新居浜工 25—6 松山南
松山北 16—4 今治工
松山工 14—6 今治南
吉田 19—6 松山北中島
新居浜東 12—11 松山商
新田 16—8 宇和島南
松山西 32—7 新居浜西
松山東 15—7 今治西

▽同準々決勝

新居浜工 14—6 松山北
吉田 24—9 松山工
新田 15—8 新居浜東
松山東 14—8 松山西

▽同準決勝

新居浜工 15—3 吉田
松山東 11—8 新田

▽同決勝

新居浜工 18—3 松山東
新居浜工は2年連続23度目の代表

▼女子1回戦

土居 12—0 西条
新居浜西 20—1 伊予農
新居浜東 18—2 東温
松山商 22—4 今治西

▽同準々決勝

新居浜商 16—4 松山商
土居 12—4 松山北中島
大島 5—4 新居浜西

スポーツ 充実のとき
ハンドボールゴールネット検定制度実施
●ゴールネットに協会検定制度が実施されます。
●GTOゴールネットは全種検定合格になりました。
株式会社ジィティオ
本社 大阪府吹田市豊津町2番3号 〒564 TEL(06)385-1111(代)
東京・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

新居浜東 5—3 松山西
▽同準決勝
新居浜商 13—5 土居
新居浜東 10—4 大島
▽同決勝
新居浜商 9—3 新居浜東
新居浜商は11年連続11度目の代表

◇香川県
▼男子予選トーナメント1回戦
高松商 24—9 丸亀
高松東 17—14 多度津工
坂出工 28—12 藤井
高松工芸 24—0 高松西
▽同2回戦
高松商 10—7 三本松
高松 22—9 高松東
坂出工 12—8 高松南
高松工芸 10—4 高松一
▽同決勝リーグ
高松商 16—15 高松
坂出工 12—8 高松工芸
坂出工 10—7 高松商
高松工芸 15—13 高松
高松商 13—11 高松工芸
坂出工 20—14 高松
【順位】①坂出工②高松商③高松工芸④高松。坂出工は2年ぶり10度目の代表
▼女子1回戦（2試合）
中央 5—3 高松一
高松 7（分）7 高松商
PTCで高松の勝ち
▽同準決勝
三本松 6—3 中央
高松南 21—2 高松
▽同決勝
三本松 7—5 高松南
三本松は2年連続11度目の代表

九州

◇沖縄県
▼男子1回戦
前原 15—5 本部
那覇 16—10 北山
宮古 26—10 小禄
普天間 17—8 読谷
那覇工 不戦勝 名護
宜野座 18—11 沖縄
真和志 19—5 南風原
八重農 21—5 南部工
豊見城 12—10 西原
知念 39—4 北谷
糸満 28—6 コザ
▽同2回戦
興南 23—14 前原
宮古 27—20 那覇
普天間 16—14 那覇工
首里 38—12 宜野座
浦添 23—9 真和志
宮工 18—12 八重農
知念 18—10 豊見城
糸満 9—7 沖縄工
▽同準々決勝
興南 23（延）18 宮古
首里 18—17 普天間
糸満 18—11 知念
浦添 18—11 宮工
▽同準決勝
興南 23（延）18 首里
浦添 17—7 糸満
▽同決勝
興南 25—19 浦添
興南は7年ぶり4度目の代表。
▼女子1回戦
名護 10—4 読谷
宮古 17—6 普天間
八重山 10—8 那覇商
糸浦 11—3 宜野座
真和志 13—6 那覇工
南部商 11—8 首里
豊見城 11—3 那覇
▽同2回戦
浦添 33—0 名護
宮古 9—6 北山
八重山 10—7 知念
前原 19—6 真知志
コザ 6—5 糸満
興南 21—3 沖縄
南商 12—5 中商
浦商 8—7 豊見城
▽同準々決勝
浦添 11—4 宮古
前原 10—4 八重山
興南 7—6 コザ
浦商 17—5 南商
▽同準決勝
浦添 13—6 前原
浦商 10—3 興南
▽同決勝
浦添 15—3 浦商
浦添は2年連続3度目の代表。

◇大分県
▼男子1回戦（1試合）
国東 14—6 鶴崎
▽同準々決勝
大分商 15—14 雄城台
別府鶴見丘 20—15 大分電波
鶴崎工 12—8 国東農
大分東 24—8 国東
▽同準決勝
鶴崎工 18（延）13 別府鶴見丘
大分東 14—12 大分商
▽同3位決定戦
別府鶴見丘 20—13 大分商
▽同決勝
鶴崎工 14—9 大分東
鶴崎工は5年ぶり9度目の代表
▼女子予選リーグA組
大分東 10—3 中津北
雄城台 15—2 玖珠農
大分東 15—4 玖珠農
雄城台 12—0 中津北
玖珠農 4—3 中津北
大分東 5—2 雄城台
▽同3組
佐賀関 13—4 田原（分）
別府青山 22—2 田原（分）
別府青山 16—3 佐賀関
▽同3位決定戦
雄城台 9—7 佐賀関
▽同決勝
別府青山 10—8 大分東
別府青山は6年ぶり3度目の代表
（注）大分東は敗るも推せん出場。

◇長崎県
▼男子1回戦
日大高 16—10 西彼
西海 19—9 造船
佐世保北 17—11 鹿町工
佐世保東商 10—8 波佐見
長崎北 17—9 瓊浦
▽同準々決勝
佐世保西 18—8 日大高
佐世保北 18—7 西海
長崎工 26—11 佐世保東商
口加 16—7 長崎北
▽同準決勝
佐世保西 23—11 佐世保北
長崎工 15—8 口加
▽同3位決定戦
佐世保北 13—9 口加
▽同決勝
佐世保西 25—9 長崎工
佐世保西は初出場。
▼女子1回戦（準々決勝）
島原農 18—3 西彼
日大高 9—3 佐世保女
佐世保北 12—2 佐世保西
佐世保商 14—5 長崎北
▽同準決勝
島原農 14—4 日大高
佐世保商 6—3 佐世保北
▽同3位決定戦
佐世保北 8—7 日大高
▽同決勝
島原農 10—1 佐世保商
島原農は4年ぶり5度目の代表

代表校速報
秋田県（男・大曲農、女・和洋女）
福井県（男・北陸、女・武生商）
石川県（男・小松工、女・小松市女）
群馬県（男・富岡、女・群女短大付）、埼玉県（男・川口北、女・深谷一）、京都府（男・東山、女・西京）、（高知県男・土佐、女・中芸）

女子にウインナーズカップが設定されたこともあって4大会に集結したクラブは実に84。ナショナルチームとは，またちがった対抗意識で，今シーズンも見応えのある内容だったようだ。

なかでも，ソ連勢が，4大会すべてファイナリストとなり，そのうちMAI・モスクワとスパルタ・キエフが栄冠を握ったのは，驚異である。

現代ハンドボールは，ソ連なくして語れないという印象をいっそう強め，4大会完勝を目論む，というソ連関係者の自信は，モスクワ・オリンピックまでには，必ず一度は実現されるのではなかろうか。

東欧勢に比べ，西側は人気のＶｆＬ・グンメルスバッハ（西ドイツ）までが，カップの準決勝でチェスカに敗れ，どうしようもなかった。

わずかに，男子ウインナーズで，アトレティーコ・マドリッド（スペイン）がベストフォア入りしたのが目立っただけ，特にMAI・モスクワから1勝（15—11）をあげたのは注目される。

最近のスペインの躍進はめざましいものがある。

ソ連，東ドイツをかわす ～女子国際～

東ドイツ女子体育連盟（ＤＦＤ）が主催する東ドイツ女子国際トーナメントは，3月末，世界のトップに立つ4カ国5チームが参加して行われ，モントリオール1位のソ連と，世界選手権1位の東ドイツが激しい優勝争いを演じ，得失点差でソ連が優勝した。

ソ連は東ドイツに，東ドイツはユーゴにそれぞれ1敗

東ドイツ—チェコ　17：14，ソ連—東ドイツＢ　20：13，ユーゴ—東ドイツ　13：12(6：7)，東ドイツＢ—チェコ　16：12，ソ連—チェコ17：10，ユーゴ—東ドイツ　17：17(引き分け)，東ドイツ—東ドイツＢ　19：13　ソ連—ユーゴ　21：16(11：9)，ユーゴ—チェコ　16：16(引き分け)，東ドイツ—ソ連　13：12（7：6）

【順位】①ソ連3勝1敗（得失点差18）②東ドイツ3勝1敗（9）③ユーゴ1勝2分1敗④東ドイツＢ1勝1分2敗⑤チェコ1分3敗

【速報】ルーマニア協会は3月に予定されながら大地震で延期されていた第1回世界女子ジュニア選手権を今秋9月30日から10月9日までブカレスト，ブランフ，プロイエステの3市で開くことになった，と発表した。

ビルトランとツルスチーナ ～優秀選手～

西ドイツの「週刊ハンドボール」誌によると1976年度のヨーロッパ最優秀選手に男子はビルトラン（ルーマニア），女子はツルスチーナ（ソ連）が決まった。

この選考はチェコのスポーツ新聞が主催，ヨーロッパ10カ国の代表的ハンドボール記者が7名連記の投票を行ない1位8点，2位6点～7位1点で集計するもの。

男子はビルトランが43点（1位指名2記者）でトップ以下クレンペル（ポーランド），ホルバト（ユーゴ），ムシ（ソ連），マキシモフ（ソ連），デッカルム（西ドイツ），イチエンコ（ソ連，ＧＫ）の順。

女子はツルスチーナが50点（1位指名4記者）で，以下マカレス(ソ連)，クレッシュマー(東ドイツ)，ステルビンスキー（ハンガリー），シエルシチュク（ソ連・ＧＫ），リヒター（東ドイツ)となり，7位にブイドソ（ハンガリー）とクラウゼ（東ドイツ）が並んだ。

〔筆者注〕このようなコンテストが毎年行われているのかどうかは不明。少くとも筆者が知ったのは初。

ニューズ • News • ニューズ

★西ドイツは5月20日，来春2月の第9回世界選手権Ａグループに出場する代表チームの候補選手18名を発表した。

モントリオール代表は4人だけという思い切った若返りで，平均年齢はなんと21.4歳。

特にＦＰは19歳のメフル（184㎝）とフライスラー（195㎝，100㎏），20歳のヴンデリッヒ（204㎝）とヴァイス（203㎝，100㎏）の超大型新人がリストアップされている。話題のＧＫバルッケ（215㎝)は補欠にまわされた。

★第1回世界男子ジュニア選手権（4月11日～19日・スウェーデン）は，本誌前号で報ぜられたとおり21カ国が参加し，ソ連が優勝したが，大会当局は，この大会のベストセブンを次のように発表した。

ＧＫガルザ(ソ連)，ＦＰスティンガ(ルーマニア)，ノビスキー(ソ連)，ワール(東ドイツ)，ガジン(ソ連)，クシュニリュク(ソ連)，ホフト（東ドイツ）

☆日本ハンドボール協会　競技規則（ルールブック）

1部 500円（送料 100円，部数によって変わります）

☆ジュニア用 ハンドボールガイドブック

1部 100円（送料 200円）　残部少数

☆日本ハンドボール協会機関誌「ハンドボール」～年間11回発行～

年間購読料 3300円（送料とも）

お申しこみはいずれも　東京都渋谷区神南1-1-1・日本ハンドボール協会

（〒150. Tel. 03-467-7097）

★☆★

海外トピックス

杉　山　　茂
（NHK運動部）

☆★☆

ソ連勢２タイトル握る～欧州４カップ～

今月からこの欄だけ横組みにしていただき，スコアの表示などをヨーロッパ誌なみにした。

前号で結果だけが紹介されているヨーロッパの４大会からお伝えしよう。

◇男子ヨーロッパ・カップ

第17回男子ヨーロッパ・カップの決勝戦ステアウア・ブカレスト（ルーマニア）×チェスカ・モスクワ（ソ連）は，４月24日西ドイツのドルトムント・ウエストファーレンホールで行われ，ブカレストが９年ぶり２度目の優勝を飾った。

立ちあがりからガツを配球源とするブカレストがビルトラン，ドラガニタらの活躍で先行，前半27分には14―7と開いたのだが，後半になるとチェスカに流れが傾きシュク，チカライエフらのパワーヒッターで14分ついに15―15とした。

このあとは一プレーごとに三千のファンを沸かす激闘となったが，ブカレストが終始先手をとり，26分ドラガニタで21―19として，そのあとのチェスカの反撃をコロトフの１点におさえ逃げ切った。

ステアウア・ブカレスト―チェスカ・モスクワ21：20（14：9）

得点者〔ス〕ビルトラン９，ボワナ５，ドラガニタ４ストックル，キクシド，ツドシエ各１。

〔チ〕チカライエフ７，シュク４，ドラチェフ，キドヤエフ，コロトフ各２，チェルニシェフ，グルビス，クリエフ各１。

◇男子カップ・オブ・カップス

第２回男子ヨーロッパ・カップ・オブ・カップス（ウイナーズカップ）の決勝戦ＭＡＩ・モスクワ（ソ連）×ＳＣ・マグデブルグ（東ドイツ）は，４月28日サポロシエ（ソ連）スポーツホールに，ヨーロッパカップ決勝を上廻る五千のファンを集めて行われ，モスクワが18―17で辛勝した。

ベテラン・マキシモフがいぜんエースで頑張るモスクワに対し，マグデブルグはドライボート，ゲルラッハら粒を揃え，前評判はまったくの互角。

はたしてスタートから一進一退となり，決め手をつかぬままに時間が経ったが，前半終了まぎわモスクワはソロビエフの巧技などで２点を先行，優位となり後半いちちは４点差（14―10）がついた。

しかし，マグデブルグもじわじわと追いあげ，その勢いは逆転を思わせたが，モスクワは必死の守りで逃げ切り，タイトルを手にした。

ＭＡＩ・モスクワ―ＳＣ・マグデブルグ18：17（9：7）

得点者〔モ〕イリン７，マキシモフ５，クリモフ，ソロビエフ各２，スチリポフ，マショリン各１

〔マ〕クルゲル７，ドライボート，ゲルラッハ各３，シュッツ２，ラケンマッハ，ウッケル各１

◇女子ヨーロッパ・カップ

第16回女子ヨーロッパ・カップの決勝戦スパルタ・キエフ（ソ連）×ＳＣ・ライプチヒ（東ドイツ）は，４月29日キエフで行われ，キエフが15―７で快勝，三千の地元ファンの声援に応えた。２年ぶり６度目の優勝。

両者は過去に３度決勝で顔合わせ，特に３年前はライプチヒがキエフの５連覇を阻んでおり，キエフにとっては雪じょく戦，すさまじいばかりの闘志をみせた。

ライプチヒも気力では劣らず，まっこうからのぶつかりあいとなり，２分間退場者が両チーム合わせて７人，５分間退場者が３人という乱戦だった。キエフは前半３―２から一気に６点連取したのが大きかった。

スパルタ・キエフ―ＳＣ・ライプチヒ　15：７（8：2）

得点者〔キ〕ツルスチーナ７，マカレス４，グルスチェンコ３，カルロワ１

〔ラ〕ウリグ，クレッシュマル各２，ルーマン，クーンベグネル各１

◇女子カップ・オブ・カップス

第１回女子ヨーロッパ・カップ・オブ・カップス（ウイナーズカップ）の決勝戦ＴＳＶ・ベルリン（東ドイツ）×ＦＴＳ・スパルタ・パク（ソ連）は，４月30日東ベルリンのヴェルナー・ジーレンビンダーホールに四千の観集めて行われ，ベルリンが18―15で勝ち，初代クイーンとなった。

ベルリンは，準決勝で優勝候補の一番手にあげられていたクセペル・ブダペスト（ハンガリー）を連破して絶好調となり，パクに対しても先手をとりつづけた。

パクは後半９―11と迫る場面があったが，ディフェンスが乱調で，ついに追いつけなかった。

ＴＳＶ・ベルリン―ＦＴＳ・スパルタ・パク　18：15（10：７）

得点者〔ベ〕リヒター８，クラウゼ３，マツツ，テイエツ，ヤニッケ各２ズーリッヒ１

〔パ〕シャバノーワ７，シュビナ３，ワチャエワ２，マメドー７，フックス，サウキナ各１。

いぜん東欧勢が優勢

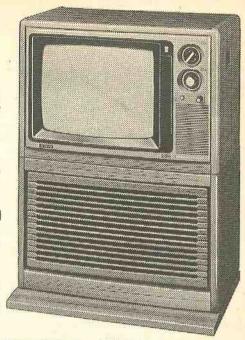
昨秋からおよそ半年間にわたって各国で熱戦をくりひろげていた４大会が幕を閉じた。

VICTOR

いい色で
いい音で

18型 C-5618（アンテナ・工事費別）
（本　体）標準価格 135,000円

別売り：スピーカーバッフル
CFT-562S　14,500円
別売り：テレビスタンド（ガラス戸付き）
CFT-561　7,200円

ビクター純白カラー

●ビクターローン・システムをご利用ください。

雷災からゴルファーを守る大崎のFYケージ

東京ゴルフ倶楽部

いま、安全なゴルフ場作りが、社会的なニーズを呼んでいます。

もしプレー中に雷に会ったら、せっかくのナイスショットも、命がけで逃げなければなりません。そんな時、安全な待避小屋が備えてあれば、あなたのゴルフ場は完璧です。
落雷は、時、場所、人を選びません。安全な待避小屋→大崎のFYケージを適所に設置して中に入れば、雷災から完全に保護されます。

大崎電氣工業株式會社
本社　東京都品川区東五反田二丁目二番七号
☎（03）443－7171（大代表）〒141

FYケージ

防雷シエルター
工業所有権出願中
特許3件
実用新案4件
意匠5件
商標1件

ブロック高校選手権

川口北、富岡破り初優勝

第23回関東高校選手権は6月4日から6日までの3日間、群馬県前橋市のスポーツセンターを主会場に男女各24校が参加して行われた。

男子は呼び声の高かった鶴舞（千葉）が、前年優勝の富岡（群馬）らを破って進出、一方からは新鋭川口北（埼玉）が勝ちあがり、初優勝をかけての対戦となったが、川口北が後半なかばから一気に加点快勝した。埼玉代表の優勝は第8回（昭37）の浦和市立以来。

女子は名門水海道二（茨城）と栃木女（栃木）のライバル同士が3年ぶり7度目の決勝を争い、水海道二が、栃木女の反撃をふり切って3年ぶり7度目の優勝を飾った。

両校の決勝での通算成績は栃木女の4勝3敗。

3連勝を狙っていた昭和学院（千葉）は2回戦で麻生（茨城）に惜敗した。

▽男子1回戦

中大付（東）15—9岩井（茨）
富岡（群）13—8法政二（神）
市原（千）15—12浅野（神）
前橋工（群）14—9国学院栃木
三宅（東）27—17塩山商（山）
佐原（千）14—13馬頭（栃）
浦和南（埼）14—11吉田（山）

▽同2回戦

川口工（埼）19—11土浦三（茨）
古井（群）18—8中大付
富岡14—10石橋（栃）
日大明誠（山）16—14市原
鶴舞（千）25—10前橋工
三宅17—14関東学院（神）
川口北（埼）14—5佐原
笠間（茨）16—13浦和南
日体荏原（東）18—10川口工

▽同準々決勝

富岡9（5 4／3 3）6吉井
鶴舞18（12 6／5 4）9日大明誠
川口北16（8 8／6 6）12三宅
笠間16（6 10／9 6）15日体荏原

▽同準決勝

鶴舞15（7 8／8 2）10富岡
川口北14（9 5／6 5）11笠間

▽同決勝

川口北16（10 6／5 4）9鶴舞

▽女子1回戦

麻生（茨）14—4市川崎（神）
藤村女（東）15—3川口北（埼）
吉田（山）7—2佐原（チ）
国学院栃木13—9浦和西（埼）
藤岡（栃）8—7川和（神）

得	【川北】		【鶴舞】	得
0	飯島	GK	宮崎	0
0	佐々木	GK	倉本	0
0	富山	FP	渡辺	1
0	寿川	FP	鶴岡	4
4	田中	FP	岩佐	1
1	沖本	FP	平野	0
2	田村	FP	小林	0
0	増田	FP	石井	3
2	高橋	FP	国吉	0
1	田中	FP	斉藤	0
0	山岸	FP	小関	0
6	稲村	FP	桐生	0
16	（2）	PT	（2）	9

（審・町田、伊崎）

佐原女（千）11—1山梨（山）
太田二（茨）8—4吉井（群）
四谷商（東）9—6桐生女（群）

▽同2回戦

麻生9—7昭和学院（千）
日川（山）8—6藤村女
水海道二（茨）17—6吉田
国学院栃木9—8群馬女短大付
三宅（東）15—5藤岡
佐原女12—8県立商工（神）
太田二14—10深谷一（埼）
栃木女（栃）11—7四谷商

▽同準々決勝

麻生6（3 3／3 2）5日川
水海道二6（3 3／2 2）4国学院栃木
三宅14（8 6／1 5）6佐原女
栃木女5（2 3／2 1）3太田二

麻生、第二2延長で惜敗

▽同準決勝

栃木女7（5 2／3 3）6三宅
水海道二8（2 1 : 1 1 : 0 3／1 1 : 0 2 : 2 1）7麻生

▽同決勝

水海道二8（3 5／3 2）5栃木女

得	【水二】		【栃女】	得
0	坂巻	GK	石塚	0
0	小林令	GK	松橋	0
2	小林玲	FP	植竹	0
0	小島	FP	石井	0
1	柴	FP	大島	1
0	武蔵	FP	清水	0
0	茂呂	FP	柏崎	1
1	佐藤	FP	野中	2
3	小貫	FP	塩谷	1
1	高崎	FP	阿部	0
0	石塚	FP	松崎	0
0	成島	FP	玉田	0
8	（1）	PT	（2）	5

（審・仲尾、高戸）

函館商、女商に逆転勝ち

第28回全道（北海道）高校選手権は、6月21、22の日両日札幌中島スポーツセンターに、道内各地区予選から勝ちあがった男子13、女子7校が参加して行われた。

男子は、前年優勝の函館大谷が釧路商に屈し、決勝は、その釧路商を破った新進・札幌西と函館有斗の間で争い、有斗が前半で優位に立って押し切り2年ぶり5度目の優勝。

女子は予想どおり函館商×函館女商の宿敵同士が対決、函館商が後半、鮮やかな組織攻撃で逆転、2年ぶり2度目の優勝を飾った。

函館有斗と函館商は全日本高校選手権の北海道代表となる。

▽男子1回戦

釧路工24—15札幌南
室蘭清水丘20—12札幌北陵
札幌西24—8留萠
室蘭東17—12紋別南
函館大谷17—5倶知安

▽同準々決勝

札幌西17—16室蘭東
函館有斗26—8釧路工
旭川東12—11室蘭清水丘
釧路商9—5函館大谷

▽同準決勝

函館有斗26（14 12／4 3）7旭川東
札幌西12（6 6／4 4）8釧路商

▽同決勝

函館有斗21（11 10／5 3）8札幌西

▽女子1回戦（3試合）

札幌丘珠12—11紋別北
恵庭南25—3登別
函館商6—4釧路江南

▽同準決勝

函館女商30（16 14／0 3）3札幌丘珠
函館商18（10 8／1 6）7恵庭南

▽同決勝

函館商6（4 2／1 4）5函館女商

世界へはばたけ日本のハンドボール

（協賛者御芳名・順不同）

美津濃 adidas 特約店

昌 永 ス ポ ー ツ

甲府市中央四丁目桜りアーケード街

高 級 帯 地

一 秀

京都市上京区堀川通今出川下ル西側
西陣産業会館内
TEL（075）431—0147

京都染色資材株式会社

出 野 勝 志

京都市中京区壬生大竹町54
TEL（075）811—5531

スプリンター・スターレットの

トヨタオートヤサカ株式会社

本社 京都市中京区壬生仙念町5番地
TEL（075）802—0151（大代表）

全道一を誇るスポーツ用品専門店

（株）スポーツハウス

釧路営業所 釧路市北大通10丁目
（23）—1526

松 の 寿 司

植 田 和 子

（清水市立商業高等学校ハンドボール部3年生）

清水市銀座1番3号 TEL66—3063

塩 山 病 院

山梨県塩山市上於曽

株式会社 加 藤 組

代表取締役 加 藤 憲

函館市千才町3—2

鳥のデパート＜鳥料理＞

た ぐ ち 会 館

田 口 欽 一（旧姓 湯山）

（昭45日本体育大学ハンドボール部卒業）

静岡県清水市銀座12番12号

ソニービデオとトリニトロンカラーの専門店

寿 電 化 サ ー ビ ス

代表者 川 口 攻

山梨県甲府市宝2丁目27—14
電話 0552—26—0319

技術と経験で奉仕する店

望 月 ス ポ ー ツ

釧路市錦町5—1 電（23）—7255
支店くしろデパートスポーツコーナー 電（24—4721

たのしく学ぶ 明るい学園

学校法人 花園学園

梅 花 幼 稚 園

静岡県清水市南岡町3—8

地場産業に貢献する

奥 山 不 動 産

代表取締役 奥山仙治郎

甲府市丸の内2丁目14—3
電話（0552）24—3265・5698

株式会社 松 本 組

取締役社長 松本演之

本社 函館市吉川町4番30号
札幌支店 札幌市北区37条西4丁目安田ビル5F

茂 津 目 精 肉 店

茂 津 目 勝 仁

（静岡県清水商高男子ハンドボール部父母の会顧問）

静岡県清水市桜ケ丘54 TEL0543—52—1951

上 田 茂 行

山梨県ハンドボール協会

会長 植 野 保

山梨県ハンドボール協会

副会長 天 川 正 次

能登・和倉温泉

政府登録 国際観光旅館 加 賀 屋

石川県七尾市和倉温泉・TEL大代表（076762）2111

株式会社 函 館 小 型 運 送

本社営業所 函館市西桔梗町589番地
（流通センター内）
電話（0138）代表49—5131
札幌連絡所 札幌市白石区菊水元町73
電話（011）861—8178

湧永、健闘のクラブ勢かわす

各地の記録

第22回中国一般選手権は例年より約一カ月早く5月14、15の両日山口県立体育館などに男子16、女子3チームが参加して開かれた。

男子は、全日本チャンピオンの湧永薬品(広島)が、さすがに強いところをみせ、危気ない試合ぶりで2連勝を飾った。

しかし、下関ク、徳山ク（ともに山口）ら、クラブ勢の意気もさかんなものがあり、山口県教員団が、日本リーグ加盟の三菱レ大竹（広島）を激戦の末、降したのも光った。

女子は、徳山ク(山口)×HFG（広島）が大接戦、わずかに徳山クが押し勝って3連勝した。

▽男子1回戦

湧永薬品（広島）46—12 津山ク（岡山）
下関ク（山口）42—10 倉吉ク（鳥取）
天城ク（岡山）15—14 朝酌ク（島根）
武田薬品光(山口) 19—9 広島県教職員(広島)
三菱レ大竹(広島) 25—11 児島ク（岡山）
山口県教員団（山口）24—14 境港市HC（鳥取）
関金ク（鳥取）19—12 島根町体協（島根）
徳山ク（山口）32—16 海上自衛隊呉（広島）

▽同準々決勝

湧永薬品 20（9—2、11—10）12 下関ク
武田薬品光 27（11—1、16—8）9 天城ク
山口県教員団 22（13—7、9—14）21 三菱レ大竹
徳山ク 38（19—4、19—13）17 関金ク

▽同準決勝

湧永薬品 33（13—5、20—4）9 武田薬品光
徳山ク 18（10—6、8—9）15 山口県教員団

▽同決勝

湧永薬品 34（17—7、17—8）15 徳山ク

▽女子1回戦（1試合）

HFG（広島）9（5—1、4—5）6 山陽女高OG（広島）

▽同決勝

徳山ク 15（8—8、7—5）13 HFG

北陸電力、愛知勢おさえる

第3回東海実業団トーナメント（男子のみ）は5月15、22日の2日間名古屋市体育館に10チームが参加して行われ、北陸電力福井（福井）が強敵揃いの愛知勢を破り初優勝を飾った。

▽1回戦（2試合）

三洋電機（岐阜）18—8 パイロットインキ（愛知）
ブラザー工業（愛知）14—11 帝人製機（岐阜）

▽準々決勝

日本耐酸壜(岐阜) 20（11—3、9—4）7 三菱レ豊橋(愛知)
日本碍子（愛知）25（11—6、14—7）13 三菱油化（三重）
トヨタカローラ愛知(愛知) 21（12—7、9—8）15 三洋電機
北陸電力福井（福井）21（10—2、11—8）10 ブラザー工業

▽準決勝

トヨタカローラ愛知 17（10—6、7—3）9 日本耐酸壜
北陸電力福井 20（11—5、9—6）11 日本碍子

▽3位決定戦

日本碍子 23（13—7、10—9）16 日本耐酸壜

▽決勝

北陸電力福井 21（8—3、13—7）10 トヨタカローラ愛知

男子は日体荏原勝つ

▼東京都高校春季大会（5月・新宿高ほか）

▽男子決勝リーグ

三宅 13—10 中大付
日体荏原 19—17 新宿
日体荏原 13—11 三宅
三宅 17—12 新宿
日体荏原 16—14 中大付
中大付 18—12 新宿

【順位】①日体荏原②三宅③中大付④新宿

▽女子決勝リーグ

四谷商 8—6 井草
三宅 6—4 藤村
三宅 10—6 四谷商
三宅 15—4 井草
藤村 7—4 四谷商
藤村 7—5 井草

【順位】①三宅②藤村③四谷商④井草

守山、彦根西おさえる

▼滋賀県春季高校大会（5月・米原高）

▽男子決勝トーナメント1回戦

彦根東 19—7 長浜商工
八幡工 21—10 能登川
彦根西 14—12 高島

▽同準決勝

米原 16—9 彦根東
八幡工 17—12 彦根西

▽同決勝

八幡工 16（6—5、10—4）9 米原

▽女子決勝トーナメント1回戦

守山女 17—2 愛知
高島 5—2 米原
彦根南 6（延）5 彦根西
大津商 9—6 彦根東

▽同準決勝

守山女 16—4 高島
彦根南 2—1 大津商

▽同決勝

守山女 11（5—5、6—1）6 彦根南

実業団は勝田、クラブは笠間

▼茨城県実業団大会（5月・水戸市民体育館）＝男子のみ

▽準々決勝

自衛隊勝田 21—6 自衛隊古河
常陽銀行 15—9 鹿島石油
日立製作所 15—5 自衛隊霞ケ浦
原子力研究所 24—5 勝田通信隊

▽準決勝

自衛隊勝田 19—11 常陽銀行
原子力研究所 25—5 日立製作所

▽決勝

自衛隊勝田 18（8—5、10—8）13 原子力研究所

▼茨城県男子クラブトーナメント（5月・水戸市民体育館）

▽1回戦（3試合）

土浦三高OB 17—10 竜ケ崎ク
千代田ク 12—2 新治ク
土浦ク 13—11 筑波ク

▽準決勝

土浦三高OB 11—9 千代田ク
笠間ク 12—11 土浦ク

▽決勝

笠間ク 16（3—5、4—2、0—0、1—1、4—4、4—3）15 土浦三高OB

佐世保ク、両大学を破る

▼長崎県春季選手権（5月・長崎工）

▽一般男子準決勝

佐世保ク 18―10 長崎大
長崎造船大 16―15 鶴陽
▽同決勝
佐世保ク 38(18―7, 20―9)16 長崎造船大
▽高校男子準々決勝
佐世保西 24―6 西彼
佐世保北 15―6 佐世保東
長崎工 21―8 瓊浦
口加 14―9 日大
▽同準決勝
佐世保西 19―7 佐世保北
口加 17―10 長崎工
▽同3位決定戦
長崎工 12―11 佐世保北
▽同決勝
佐世保西 14(6―4, 8―6)10 口加
▽女子1回戦(3試合)
佐世保北 9―5 長崎北
日大 12―2 佐世保女商
佐世保商 17―3 西彼
▽同準決勝
島原農 14―4 佐世保北
佐世保商 18―2 日大
▽同3位決定戦
佐世保北 9―4 日大
▽同決勝
島原農 9(4―3, 5―3)6 佐世保商

小杉、男女とも決勝で敗る

▼富山県春季高校選手権(5月・小杉高)
▽男子準々決勝
氷見 38―2 富山東
高岡日大 17―7 富山商
小杉 14―3 雄山
高岡商 28―5 富山
▽同準決勝
氷見 19―4 高岡日大
小杉 10(延)9 高岡商
▽同決勝
氷見 27(11―4, 16―2)6 小杉
▽女子準々決勝
有磯 13―3 富山女
高岡 4―2 雄山
小杉 16―1 富山一
高岡女 11―3 富女短付
▽同準決勝
有磯 38―2 高岡
小杉 13―5 高岡女
▽同決勝
有磯 4(2―1, 1―2, ……, 1―0, 0―0)3 小杉

トヨタ車体が4連勝

▼第39回愛知県実業団リーグ(4月・名古屋市体育館)＝男子のみ
▽1部
トヨタ車体 24―12 日本碍子
新日鉄名古屋 11―6 豊田合成
大同高蔵 21―9 豊田合成
トヨタ車体 22―6 トヨタ自工
大同高蔵 13(分)13 新日鉄名古屋
トヨタ自工 17―12 日本碍子
新日鉄名古屋 20―7 日本碍子
大同高蔵 17―7 日本碍子
新日鉄名古屋 14―5 トヨタ自工
トヨタ車体 11―8 大同高蔵
トヨタ車体 17―8 豊田合成
大同高蔵 14―6 トヨタ自工
豊田合成 12―7 トヨタ自工
豊田合成 16―8 日本碍子
トヨタ車体 14―10 新日鉄名古屋
【順位】①トヨタ車体5戦全勝＝4シーズン連続5度目の優勝②大同高蔵・新日鉄名古屋3勝1分1敗④豊田合成2勝3敗⑤トヨタ自工1勝4敗⑥日本碍子5敗
【2部順位】①ブラザー工業②豊田織機③パイロットインキ④三菱電機⑤自衛隊春日井⑥カローラ愛知⑦中部電力⑧豊田工機
▽1・2部入替え戦
日本碍子(1部) 13―4 ブラザー工業(2部)

西京、1―0での優勝

▼第31回京都府高校春季選手権(5月・乙訓高ほか)
▽男子準々決勝
東山 20―3 洛北
洛星 6―5 城南
桃山 13―6 嵯峨野
洛東 12―7 伏見
▽同準決勝
東山 22―5 洛星
洛東 13―4 桃山
▽同決勝
東山 28(15―3, 13―3)6 洛東
▽女子準々決勝
精華 5―2 光華
塔南 4―3 鴨沂
西京 7―3 明徳
向陽 9―1 日吉ケ丘
▽同準決勝
精華 2―2 塔南
3(PTC)1
西京 8―1 向陽
▽同決勝
西京 1(1―0, 0―0)0 精華

▼石川県一般春季選手権(5月・金沢美術工大体育館)＝男子のみ
▽準々決勝
金沢市役所 32―9 金沢医大
金沢大 18―17 あすなろク
小松ク 棄権 七尾ク
県工ク 20(延)19 金沢工大
▽準決勝
金沢市役所 22―11 県工ク
金沢大 32―13 小松ク
▽決勝
金沢市役所 25(13―7, 12―9)16 金沢大

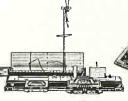
▼第23回神奈川県高校大会(5月・生田高)
▽男子決勝リーグ
関東学院 10―7 法政二
浅野 14―8 生田
慶応 18―8 横浜商工
関東学院 22―3 生田
法政二 14―5 慶応
浅野 24―12 横浜商工
関東学院 9―7 慶応
横浜商工 17―12 生田
法政二 15―14 浅野
関東学院 8―7 横浜商工
浅野 8―7 慶応
法政二 15―6 生田
関東学院 12―11 浅野
法政二 15(分)15 横浜商工
慶応 17―6 生田
【順位】①関東学院②法政二③浅野④慶応⑤横浜商工⑥生田
▼女子決勝リーグ
川和 5―3 東
県商工 6―1 北鎌倉
市川崎 6―2 生田
川和 7―5 北鎌倉
生田 5―4 東
県商工 5―1 市川崎
川和 8―5 生田
市川崎 6―5 北鎌倉
県商工 2(分)2 東
川和 6―1 市川崎
県商工 10―1 生田
東 6―2 北鎌倉
県商工 4―1 川和
市川崎 6―1 東
生田 2(分)2 北鎌倉
【順位】①県商工②川和③市川崎④生田⑤東⑥北鎌倉

▼第10回沖縄県一般選手権(5月)
▽男子準々決勝
沖国大 30―12 スクラップ
沖縄教員 25―13 沖高OB
興南OB 21―13 二・六会
糸満ク 棄権 琉球大
▽同準決勝
沖縄教員 21―19 沖国大
興南OB 23―17 糸満ク
▽同決勝
沖縄教員 23(8―13, 15―6)19 興南OB

練習が技術をつちかい
技術が信頼を支える

きょうの反省を、あすの練習に、試合に結びつける……スポーツマンにとって、大切な心がまえです。常により高度な技術をめざしてチャレンジする——それはブラザーが目ざしているものと一致します。技術がチームメートの信頼を支えるように、お客さまの信頼に応えるのは、高度な技術に支えられた品質以外にないのですから——。

BROTHER
ブラザー

ブラザー工業株式会社
ブラザーミシン販売株式会社

2府23県 160 店舗
全国に拡がる（S51.2 現在）
ジャスコグループ

ジャスコ

本　社／大阪市福島区大開1－8－8

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一五四号
昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可
昭和五二年六月二十五日印刷
昭和五二年七月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
都渋谷区神南一—一—一
代表（467）七〇九七
東京 五八三四八番
編集兼発行人　荒川清美
定価 三百五十円
（年間購読料三千三百円）